官報　第三千八百二十八號　明治二十九年四月七日　火曜日

官報

○法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル醬油稅則中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文
大藏大臣　子爵渡邊國武

法律第六十四號

明治二十一年勅令第四十七號醬油稅則中營業稅ニ關スル事項ヲ刪除ス

附則

此ノ法律ハ明治三十年一月一日ヨリ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル牛馬賣買免許稅規則其ノ他廢止法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文
大藏大臣　子爵渡邊國武

法律第六十五號

明治五年第三百三十號布告牛馬賣買免許稅規則、明治八年第二十七號布告車稅規則、明治十六年第十三號布告船稅規則、明治十八年第十一號布告菓子稅則ヲ廢止ス

附則

此ノ法律ハ明治三十年一月一日ヨリ施行ス但シ明治二十九年第二期菓子製造稅ハ仍菓子稅則ノ規定ニ依ル

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル馬匹ノ調查及檢查ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文
陸軍大臣　侯爵大山巖

法律第六十六號

第一條　戰時若ハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲馬匹ノ調查及檢查ヲ行フ

第二條　馬匹ノ調查ハ島司郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ檢查ハ陸軍官憲之ヲ行フ但シ檢查ハ一年一回ヲ超ユルコトナシ

本文
3828
29

第三條　馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ
第四條　馬匹ノ所有者ハ指定ノ檢査場ニ於テ馬匹ノ檢査ヲ受クヘシ
馬匹ノ檢査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス
第五條　徵發令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此ノ法律ヲ適用セス
第六條　馬匹ノ調査及檢査ヲ行フヘキ區域時期、馬匹ノ種類第三條ノ届出事項及第四條ノ手當、旅費ノ金額ニ關スル規程竝此ノ法律施行ノ爲必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附　則

第七條　東京市、京都市、大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長之ヲ行フ
市制、町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ區長、戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ
第八條　此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

勅令第百二十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル船舶檢査法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文
遞信大臣　白根專一

法律第六十七號

船舶檢査法

第一條　日本船舶ハ左ニ記載スルモノヲ除ク外此ノ法律ノ規程ニ依リ檢査ヲ受クヘシ
一　海軍艦船艤
二　登簿噸數十五噸未滿若ハ積石數百五十石未滿ノ帆船
三　湖川其ノ他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船
四　櫓櫂ノミヲ以テ航行スル船舶

第二條　此ノ法律ニ依リ檢査ヲ受クヘキ汽船ハ遠洋航船、近海航船、沿海航船、平水航船ノ四種トシ帆船ハ遠洋航船、近海航船ノ二種トス

第三條　船舶ノ檢査ハ船舶ヲ日本船舶トシテ初メテ航行ノ用ニ供スルトキ其ノ航行期間滿了ノトキ及航行期間內特ニ必要アルトキ之ヲ行フ
第四條　船舶ノ航行期間ハ汽船ニ在テハ二箇月以上一箇年以內、帆船ニ在テハ六箇月以上三箇年以內トス
第五條　登簿噸數十五噸以上若ハ積石數百五十石以上ノ船舶ノ檢査ハ其ノ所在地ヲ管轄スル船舶司檢所之ヲ行フ
第六條　檢査官吏船舶ヲ檢査シ遞信大臣ノ定ムル檢査規程ニ適合スルモノト認ムルトキハ本船ノ航路定限、旅客定員、汽壓制限及航行期間ヲ定メ管轄官廳ヨリ船舶檢査證書ヲ交付スヘシ
第七條　檢査ヲ受ケタル船舶ノ所有者又ハ船長ニ於テ船舶檢査證書ノ受有前ニ船舶ヲ航行ノ用ニ供セムトスルトキハ檢査官吏ノ其ノ請求ニ依リ假證書ヲ交付シテ之ヲ許可スルコトヲ得
第八條　檢査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨視シ若特ニ檢査ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ航行ヲ停止スルコトヲ得
第九條　船舶ノ檢査ニ對シ不服アル者ハ其ノ事由ヲ具シ遞信大臣ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得
再檢査ヲ申請シタル者ハ其ノ決定前船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス
第十條　遞信大臣ノ特ニ定ムル場合ノ外船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受有セシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ船舶檢査證書若ハ假證書ニ記載スル船舶ノ航路定限、航行期間ヲ超エテ航行シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス
詐僞ノ所爲ヲ以テ船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受ケ又ハ汽壓制限ヲ超エテ航行シ又ハ檢査官吏ノ臨視ヲ拒ミ又ハ航行停止ノ命ニ違背シ又ハ必要ナル屬具ノ整備ヲ爲サスシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタル者亦同シ
船舶檢査證書若ハ假證書ニ記載スル旅客定員ヲ超エテ旅客ヲ搭載シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第十一條　前條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員取締役若ハ使用人ニ之ヲ適用ス
第十二條　船舶ノ航路定限、航行期間、旅客定員及汽壓制限ニ關スル規程其ノ他此ノ法律ノ施行ニ必要ナル細則ハ遞信大臣之ヲ定ム

附　則

第十三條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス
第十四條　明治十七年第三十七號布告西洋形船舶檢査規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス
第十五條　明治十七年第三十七號布告西洋形船舶檢査規則ニ依リ交付シタル船舶檢査證書ハ其ノ有效期間滿了マテ效力ヲ有ス

第十六條　此ノ法律施行ノ際現存スル積石數百五十石以上ノ帆船ハ遞信大臣ノ定ムル順序ニ依リ漸次檢査ヲ受クルマテ船舶檢査證書ヲ受有セスシテ航行ノ用ニ供スルコトヲ得
第十七條　此ノ法律ハ外國ノ船籍ニ屬スル船舶ヲ借入レ帝國各港ノ間又ハ帝國ト外國トノ間ニ於テ航行ノ用ニ供スル者ニモ亦之ヲ適用ス

勅令第百二十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル船舶職員法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文
遞信大臣　白根專一

法律第六十八號

船舶職員法

第一條　日本船舶ニハ此ノ法律ノ規程ニ依リ船舶職員ヲ乘組マシムヘシ
船舶職員ト稱スルハ船長、一等運轉士、二等運轉士、機關長及一等機關士ヲ謂フ
第二條　海技免狀ヲ有スル者ニアラサレハ船舶職員タルコトヲ得ス
第三條　海技免狀ハ左ノ十二種トス

甲種船長
甲種一等運轉士
甲種二等運轉士
乙種船長
乙種一等運轉士
乙種二等運轉士
丙種船長
丙種運轉士
機關長
一等機關士
二等機關士
三等機關士

第四條　各船舶ニ乘組マシムヘキ船舶職員ノ定員及其ノ免狀ノ種類ハ第一號表ニ依ル
第五條　海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル試驗規程ニ依リ試驗ヲ受ケ合格シ且海員名簿ニ登錄ヲ受ケタル者ニ授與ス
海軍艦船艤ニ乘組ミ運航若ハ機關運轉ニ從事シ又ハ商船學校全科卒業證書ヲ有シ遞信大臣ニ於テ海員試驗規程ニ合格スト認ムル者ニハ試驗ヲ用井スシテ相當ノ免狀ヲ授與スルコトヲ得
第六條　左ニ記載スル事項ニ該當スル者ハ海員試驗ヲ受クルコトヲ得ス又船舶職員タルコトヲ得ス
一　公權ヲ剝奪セラレ復權セサル者及公權停止中ノ者
二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者及身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者
三　瘋癲白痴者若ハ身體不具ニシテ執職ニ不適當ナル者
四　海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者及其ノ行使停止中ノ者
第七條　高等ノ免狀ハ下等ノ免狀ニ代用スルコトヲ得
甲種船長ノ免狀ハ他ノ船長及運轉士ノ免狀ニ對シ、甲種一等運轉士ノ免狀ハ他ノ運轉士ノ免狀ニ對シ、甲種二等運轉士ノ免狀ハ乙種各運轉士及丙種運轉士ノ免狀ニ對シ、乙種船長ノ免狀ハ乙種各運轉士ノ免狀ニ對シ、乙種一等運轉士ノ免狀ハ乙種二等運轉士ノ免狀ニ對シ、丙種船長ノ免狀ハ丙種運轉士ノ免狀ニ對シ各高等ノ免狀トス
機關長ノ免狀ハ一等機關士以下ノ免狀ニ對シ、一等機關士ノ免狀ハ二等機關士以下ノ免狀ニ對シ、二等機關士ノ免狀ハ三等機關士ノ免狀ニ對シ各高等ノ免狀トス
第八條　左ニ揭クル者ハ二十圓以上二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス
一　第四條及第四條ニ違背シ相當ノ船舶職員ヲ乘組マシメサル者
二　第二條及第四條ニ違背シ相當ノ海技免狀ヲ受有セスシテ船舶職員ト爲リタル者
三　第六條ニ違背シ船舶職員ト爲リタル者
四　海技免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者
五　海技免狀行使ノ假停止若ハ差押ヲ受ケ其ノ職務ヲ執リタル者
第九條　前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ賭罪俱發ノ例ヲ用井ス
前條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員取締役若ハ使用人ニ之ヲ適用ス

附　則

第十條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス
第十一條　明治十三年第二十八號布告及明治十四年第七十五號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス
第十二條　明治九年第八十二號布告、同年第九十四號布告及明治十四年第七

本文 3828

十五號布告ニ依リ授與シタル免狀ハ第二號表ニ依リ各相當ノ免狀ト交換スヘシ其ノ交換ノ手續及時期ハ遞信大臣之ヲ定ム

前項ニ掲ケタル各種ノ舊免狀ハ新免狀ト交換スルマテ之ニ代用スルコトヲ得

第十三條　此ノ法律ハ施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ積石數百五十石以上ノ帆船ニハ之ヲ適用セス

第十四條　遞信大臣ハ積石數百五十石以上ノ帆船ニ乘組ミ三箇年以來其ノ運航ヲ掌リ且此ノ法律施行ノ際現ニ船長ノ職ヲ執リ年齡二十歳以上ノ者ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ試驗ヲ用ヒスシテ相當ノ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得

第十五條　遞信大臣ハ第一號表中近海航船ニシテ登簿噸數五百噸未滿ノ汽船及沿海航船ニシテ登簿噸數二百噸以上ノ汽船ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ二等機關士ノ免狀ヲ有スル者ニ機關長ノ職ヲ執ラシメ又一等機關士ヲ乘組マシメサルコトヲ得

第一號表

航路定限	船舶種類	登簿噸數又ハ積石數	職員名稱	免狀種類	定員
遠洋航船	汽船	三百噸以上	船長	甲種一等運轉士	
			一等機關士	甲種一等機關士	
			二等運轉士	甲種一等運轉士	
			二等機關士	甲種一等機關士	
		三百噸未滿一百噸以上	船長	甲種一等運轉士	
			一等機關士	甲種一等機關士	
			二等運轉士	甲種一等運轉士	
			二等機關士	甲種一等機關士	
		百噸未滿	船長	甲種二等運轉士	
			機關長	乙種一等機關士	
			一等運轉士	甲種二等運轉士	
			一等機關士	乙種一等機關士	
	帆船	三百噸以上	船長	甲種一等運轉士	
			一等運轉士	甲種一等運轉士	
			二等運轉士	甲種一等運轉士	
			二等機關士	甲種一等機關士	
		三百噸未滿	船長	甲種二等運轉士	
			一等運轉士	甲種二等運轉士	
		三百噸以上	船長	甲種二等運轉士	
			一等運轉士	甲種二等運轉士	
近海航船	汽船	五百噸以上	船長	乙種一等運轉士	
			一等運轉士	乙種一等運轉士	
			二等運轉士	乙種一等運轉士	
			一等機關士	乙種一等機關士	
			二等機關士	乙種一等機關士	
		五百噸未滿百五十石以上二百噸以上	船長	乙種二等運轉士	
			一等運轉士	乙種二等運轉士	
			二等運轉士	乙種二等運轉士	
			一等機關士	乙種二等機關士	
			二等機關士	乙種二等機關士	
		二百噸未滿百五十石以上二千石未滿	船長	丙種運轉士	
			一等運轉士	丙種運轉士	
			一等機關士	丙種運轉士	
	帆船	二千石以上	船長	丙種運轉士	
			一等運轉士	丙種運轉士	
		五百噸以上	船長	甲種二等運轉士	
			一等運轉士	甲種二等運轉士	
			二等運轉士	甲種二等運轉士	

法律第六十八號參照

明治九年六月第八十二號布告ハ西洋形船船長運轉手機關手試驗規則、同年六月二第九十四號布告ハ同規則追加、同十三年五月第二十八號布告ハ海軍非職准士官以上官民ノ依頼ニ應シ西洋形船舶ノ乘組員ト爲ル者ニ關スル件、同十四年十二月第七十五號布告ハ西洋形船船長運轉手機關手免狀規則ナリ

第二號表

新舊免狀對照表

舊免狀	新免狀
甲種船長	甲種一等運轉士
甲種一等運轉士	甲種一等運轉士
甲種二等運轉士	甲種二等運轉士
機關長	
一等機關士	
乙種船長若ハ丙種船長	
乙種一等運轉士若ハ丙種運轉士	
乙種一等運轉士若ハ丙種運轉士	
乙種二等運轉士若ハ丙種運轉士	
乙種二等運轉士若ハ丙種運轉士	
一等機關士	
二等機關士	
乙種二等運轉士	
三等機關士	

沿海汽船	平水航船
百噸未滿船長	汽船 百噸未滿機關長
二百噸未滿機關長	乙種三等機關士
二百噸以上一等機關長	乙種二等機關士
乙種一等運轉士	乙種一等機關士
乙種二等運轉士	船長
乙種一等機關士	百噸以上船長
乙種二等機關士	乙種二等運轉士
	乙種二等機關士

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文

遞信大臣　白根專一

法律第六十九號

海員懲戒法

第一章　總則

第一條　海技免狀ヲ受有スル者其ノ職務ヲ行フニ當リ左ノ事項ニ該當スルトキハ海員審判所ノ裁決ヲ以テ懲戒ヲ加フヘシ

一　正當ノ理由ナクシテ其ノ船舶ヲ放棄シタルトキ

二　過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ自他ノ船舶ヲ問ハス之ニ損害ヲ加ヘ若ハ之ヲ沈沒セシメタルトキ

三　過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ人ヲ殺傷シタルトキ

四　海難ニ罹リ其ノ船舶又ハ船客乘組員ヲ救助スルノ方法ヲ盡ササルトキ

五　海難ニ罹リタル船舶アルコトヲ認メ正當ノ理由ナクシテ其ノ船舶又ハ船客乘組員ヲ救助スルノ方法ヲ盡ササルトキ

六　職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

七　亂醉粗暴其ノ他ノ失行アリタルトキ

第二條　懲戒ハ左ノ三種トス

一　免狀行使ノ禁止

二　免狀行使ノ停止

三　譴責

第三條　前條懲戒ノ適用ハ所爲ノ輕重ニ從ヒ海員審判所之ヲ定ム

第四條　免狀行使ノ停止ハ一月以上三年以下トス

第五條　海員審判所ハ左ノ原因アルトキハ審判ヲ行ハス

一　確定裁決

二　時效

第一條ノ各號ニ該當スル者ハ廢業ノ故ヲ以テ懲戒ヲ免ルコトヲ得ス

第六條　時效ノ期間ハ審判ヲ受クヘキ事件ノ生シタル日ヨリ五年トス

第七條　海員審判所ノ審判ニ關シ此ノ法律ニ規程ナキモノニ付テハ刑事訴訟法ノ規程ヲ準用ス

第二章　海員審判所ノ組織及管轄

第八條　海員審判所ハ地方海員審判所及高等海員審判所ノ二トス

地方海員審判所ハ船舶司檢所ニ置キ高等海員審判所ハ遞信省ニ置ク

第九條　海員審判所ニハ審判所長、審判官、理事官及書記ノ定員竝其ノ任用ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　地方海員審判所ノ審判ハ審判長及審判官ヲ併セテ五人ノ列席合議ヲ以テ之ヲ行フ

地方海員審判所ノ管轄區域ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　審判ニ付スヘキ事件ノ管轄權ハ其ノ事件ノ生シタル船舶ノ定繫場ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス

同一ノ事件ニ付二箇以上ノ地方海員審判所管轄權ヲ有スルトキハ其ノ事件ノ生シタル地ニ最モ近キモノノ管轄トス

第十三條　地方海員審判所ノ理事官又ハ被審人ハ其ノ事件ヲ他ノ地方海員審判所ニ移付スルノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス者ハ審判期日前ニ管轄海員審判所ヲ經由シテ高等海員審判所ニ申請書ヲ差出スヘシ

高等海員審判所ハ前項ノ申請アリタル場合ニ於テ審判上便益ナリト認ムルトキハ其ノ決定ヲ以テ他ノ地方海員審判所ニ該事件ヲ移付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ該事件ハ移付ヲ受ケタル地方海員審判所ノ管轄權ニ屬ス

第十四條　高等海員審判所ハ左ノ場合ニ於テ理事官又ハ被審人ノ申請書ニ依リ何レノ海員審判所ニ於テ本件ヲ審判スルノ權アルヤヲ決定ス

一　權限アル地方海員審判所ニ於テ法律上ノ理由若ハ特別ノ事情ニ因リ審判權ヲ行フコトヲ得サルトキ

二　二以上ノ地方海員審判所審判權ヲ有シ又ハ有セストノ確定裁決ヲ爲シタルトキ

第三章　審判前ノ手續

第十五條　船舶司檢所司檢官、同司檢官補、警察官吏、市町村長及浦役人ニ於テ此ノ法律ニ依リ審判ニ付スヘキ事實アリタルコトヲ認知シタルトキハ直ニ其ノ事實ヲ詳記シ管轄地方海員審判所ノ理事官ニ報告スヘシ

第十六條　領事官及貿易事務官帝國外ニ於テ前條ノ事實アリタルコトヲ認知シタルトキハ證憑ヲ集取シ管轄地方海員審判所ノ理事官ニ報告スヘシ

第十七條　理事官審判ニ付スヘキ事實アリタルコトヲ認知シタルトキハ證憑ヲ集取シ又必要ニ應シ實地臨檢スルコトヲ得

第十八條　理事官ハ職權ヲ以テ審判ノ開始ヲ地方海員審判所ニ申立ツヘシ

前項ノ申立ヲ爲ストキハ證憑其ノ他必要ノ書類ヲ添附スヘシ

第四章　地方海員審判所ノ審判

第十九條　地方海員審判所ハ理事官ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ審判ヲ開始スヘキヤ否ヤヲ決定ス但シ職權ヲ以テスル場合ニ於テハ理事官ノ意見ヲ聽クヘシ

開始決定ハ理事官及被審人ニ之ヲ通知スヘシ

第二十條　地方海員審判所ニ於テ下調ヲ必要ナリト決定スルトキハ審判所長ハ審判官ニ其ノ下調ヲ命スヘシ

第二十一條　下調ノ命ヲ受ケタル審判官ハ被審人ヲ呼出シテ之ヲ訊問スルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル海員懲戒法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

本文 3828

受命審判官ハ必要ナル證憑ヲ集取スヘシ

受命審判官ハ證人、鑑定人ヲ呼出シ又ハ通事ヲ命シ若ハ臨檢ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　被審人若ハ證人正當ノ理由ナクシテ受命審判官ノ呼出ニ應セサルトキハ受命審判官ハ引致狀ヲ發シテ之ヲ引致セシムルコトヲ得

第二十三條　被審人逃走シ又ハ逃走ノ虞アルトキハ受命審判官ハ免狀行使ノ假停止ヲ爲シ若ハ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十四條　被審人又ハ證人疾病其ノ他正當ノ事故アリテ呼出ニ應スルコト能ハサルコトヲ疏明スルトキハ受命審判官ハ其ノ所在ニ就テ之ヲ訊問シ若ハ他ノ地方海員審判所ニ其ノ訊問ヲ囑託スルコトヲ得

第二十五條　受命審判官下調ヲ終リタルトキハ調書及一切ノ證憑ヲ審判所長ニ差出シ審判所長ハ直ニ之ヲ理事官ニ送付スヘシ

第二十六條　地方海員審判所ハ下調ヲ十分ナリト思料スルトキハ審判ヲ繼續スルヤ否ヤヲ決定スヘシ

審判ヲ繼續スヘシト決定スルトキハ審判期日ヲ定メ被審人ヲ呼出スヘシ

第二十七條　審判ハ之ヲ公開スル但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ地方海員審判所ノ決定ニ依リ其ノ公開ヲ停止スル

第二十八條　第二十一條乃至第二十四條ハ地方海員審判所ノ審判ノ場合ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　開廷中秩序ノ維持ハ審判長ニ屬ス審判長ハ審判ヲ妨クル者又ハ不當ノ言語ヲ發スル者ヲ退廷セシムルコトヲ得

第三十條　被審人及證人ノ訊問ハ審判長之ヲ爲ス

審判官及理事官ハ審判長ニ告ケ被審人及證人ヲ訊問スルコトヲ得

第三十一條　理事官ハ審判ニ立會ヒ其ノ意見ヲ述フルコトヲ得

第三十二條　被審人ハ補佐人ヲ用ウルコトヲ得但シ地方海員審判所ノ認許シタル者ニ限ル

第三十三條　地方海員審判所ハ呼出ヲ受ケタル被審人審判期日ニ出頭セサルトキハ闕席裁決ヲ爲スヘシ但シ被審人ノ疾病其ノ他ノ故障ニ依リ審判ヲ行フコト能ハサルトキハ決定ヲ以テ其ノ審判ヲ延期又ハ中止スルコトヲ得

第三十四條　刑事裁判手續中ノ被審人ニ對シ審判ヲ開始スルコトヲ得ス

被審人刑事訴追ヲ受ケタルトキハ其ノ事件ノ判決ヲ終ルマテ審判ヲ中止スヘシ

第三十五條　理事官及被審人ハ本案ノ裁決アルマテ何時ニテモ管轄違又ハ審判ヲ行フヘカラサルノ申立ヲ爲スコトヲ得

地方海員審判所ハ職權ヲ以テ管轄違又ハ審判ヲ行フヘカラサルノ言渡ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　地方海員審判所ニ於テ前條ノ申立ヲ却下シタルトキハ本案ノ裁決ヲ待タス直ニ高等海員審判所ニ控告スルコトヲ得

第三十七條　裁決ニハ其ノ理由及證憑ヲ明示スヘシ

第三十八條　裁決及裁決始末書ノ原本ハ審判ヲ爲シタル地方海員審判所之ヲ保存スヘシ

第五章　高等海員審判所ノ審判

第三十九條　理事官及被審人ハ地方海員審判所ノ裁決ニ對シ高等海員審判所ニ控告スルコトヲ得

第四十條　控告ノ期間ハ裁決言渡アリタル日ヨリ七日トス

闕席裁決ニ對スル控告ノ期間ハ被審人自ヲ裁決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ十四日トス

第四十一條　控告ヲ爲スニハ其ノ申立書ヲ原地方海員審判所ニ差出スヘシ

原地方海員審判所ハ直ニ該申立書及一件書類ヲ高等海員審判所ニ送付スヘシ

第四十二條　高等海員審判所ノ審判ニ付テハ地方海員審判所ノ審判ニ關スル規程ヲ適用ス

第四十三條　高等海員審判所ハ控告ヲ理由アリトスルトキハ原裁決ヲ取消シ更ニ裁決ヲ爲スヘシ

控告ヲ理由ナシトスルトキハ裁決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第六章　執行處分

第四十四條　懲戒ハ裁決確定ノ後之ヲ執行ス

第四十五條　免狀行使ノ禁止ヲ言渡シタルトキハ其ノ審判ヲ爲シタル海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ遞信省ニ送付スヘシ

免狀行使ノ停止ヲ言渡シタルトキハ其ノ審判ヲ爲シタル海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ期間滿了ノ後之ヲ本人ニ還付スヘシ

免狀行使ノ禁止若ハ停止ヲ言渡サレタル者海員審判所ニ免狀ヲ差出ササルトキハ海員審判所ノ其ノ免狀ヲ無效ト爲シ官報ニ告示スヘシ

第七章　罰則

第四十六條　海員審判所又ハ受命審判官ヨリ證人トシテ呼出サレタル者及鑑定又ハ通事ノ爲呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス若ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ二圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條　證人トシテ海員審判所ニ呼出サレタル者僞證ヲ爲シタルトキ及鑑定又ハ通事ノ爲海員審判所ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ僞證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者亦同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ裁決言渡ニ至ラサル前ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

附　則

第四十八條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第四十九條　海員審判所ノ事務章程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條　此ノ法律施行ノ際西洋形船船長運轉手機關手免狀規則第十條ニ依リ審問中ノ事件ハ此ノ法律ニ依リ管轄權ヲ有スル地方海員審判所ノ管轄ト爲ス其ノ既ニ審問ノ判定ヲ受ケタルモノハ第五章ノ規程ニ依リ高等海員審判所ニ控告スルコトヲ得

○勅令

朕醫術開業試驗委員官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

内閣總理大臣　侯爵伊藤博文

内務大臣　芳川顯正

勅令第百十八號

醫術開業試驗委員官制

第一條　醫術開業試驗委員ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ醫術開業試驗ニ關スル事務ヲ管掌ス

第二條　醫術開業試驗委員ハ委員長一人主事二人委員若干人ヲ以テ組織ス

醫術開業試驗委員長及主事ハ高等官ヲ以テ之ニ充ツ

高等官ニアラサル醫術開業試驗委員ノ待遇ハ奏任トス

第三條　醫術開業試驗委員長主事及委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

醫術開業試驗委員ノ任期ハ四箇年トス但滿期ノ後再任セラルルコトヲ得

第四條　醫術開業試驗委員長ハ醫術開業試驗主事及委員ヲ監督シ其ノ事務ヲ掌理ス

第五條　醫術開業試驗委員長ハ醫術開業試驗委員ノ提出シタル試驗ノ成績ヲ査定シ及第シタル者ニ及第證書ヲ付與ス

第六條　醫術開業試驗委員長署名スヘシ

第七條　醫術開業試驗主事ハ醫術開業試驗委員長ノ指揮ヲ承ケ試驗ニ關スル庶務ヲ整理ス

醫術開業試驗主事ハ醫術開業試驗委員長ノ命ヲ承ケ其ノ職務ヲ代理スルコトヲ得

第八條　醫術開業試驗委員ハ醫術開業試驗委員長ノ指揮ヲ承ケ學說試驗及實地試驗ヲ掌ル

第九條　醫術開業試驗委員長主事及委員ニハ事務ノ繁簡ニ從ヒ手當ヲ給ス

第十條　醫術開業試驗書記ヲ置キ内務屬ヲ以テ之ニ充ツ

醫術開業試驗書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

醫術開業試驗書記ニハ事務ノ繁簡ニ從ヒ手當ヲ給ス

附　則

第十一條　從前ノ醫術開業試驗委員長ハ別ニ辭令ヲ用ヰス本令施行ノ日ヨリ其ノ任ヲ解カレタルモノトス

第十二條　明治二十二年勅令第六十二號醫術開業試驗委員組織權限ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

朕藥劑師試驗委員官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

内閣總理大臣　侯爵伊藤博文

内務大臣　芳川顯正

勅令第百十九號

藥劑師試驗委員官制

第一條　藥劑師試驗委員ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ藥劑師試驗ニ關スル事務ヲ管掌ス

第二條　藥劑師試驗委員長ハ委員長一人主事二人委員若干人ヲ以テ組織ス

藥劑師試驗委員長及主事ハ高等官ヲ以テ之ニ充ツ

許可 3828 本文

高等官ニアラサル藥劑師試驗委員ノ待遇ハ奏任トス

第三條　藥劑師試驗委員長主事及委員ハ內務大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

藥劑師試驗委員ノ任期ハ四箇年トス但滿期ノ後再任セラルルコトヲ得

第四條　藥劑師試驗委員長ハ藥劑師試驗委員長署名スヘシ

第五條　藥劑師試驗委員長ハ藥劑師試驗委員ノ提出シタル試驗ノ成績ヲ查定シ及第シタル者ニ及第證書ヲ付與ス

第六條　藥劑師試驗委員長ハ試驗了ルノ後其ノ成績及試驗事務ノ要領ヲ內務大臣ニ報告スヘシ

第七條　藥劑師試驗主事ハ藥劑師試驗委員長ノ指揮ヲ承ケ試驗ニ關スル庶務ヲ整理ス

藥劑師試驗主事ハ藥劑師試驗委員長ノ命ヲ承ケ其ノ職務ヲ代理スルコトヲ得

第八條　藥劑師試驗委員ハ藥劑師試驗委員長ノ指揮ヲ承ケ學說試驗及實地試驗ヲ掌ル

第九條　藥劑師試驗委員長主事及委員ニハ事務ノ繁簡ニ從ヒ手當ヲ給ス

第十條　藥劑師試驗書記ヲ置キ內務屬ヲ以テ之ニ充ツ

藥劑師試驗書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

藥劑師試驗書記ニハ事務ノ繁簡ニ從ヒ手當ヲ給ス

附　則

第十一條　從前ノ藥劑師試驗委員長及主事ハ別ニ辭令ヲ用ヰス本令施行ノ日ヨリ其ノ任ヲ解カレタルモノトス

第十二條　明治二十七年勅令第七十四號藥劑師試驗委員組織權限ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

朕內國旅費規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

內閣總理大臣　侯爵伊藤博文

大藏大臣　子爵渡邊國武

勅令第百二十號

明治十九年閣令第十四號內國旅費規則中左ノ通追加ス

第二十二條　各省大臣ハ臺灣旅行ニ限リ旅費定額ヲ以テ支辨シ難シト認ムル場合ニ於テハ大藏大臣ニ協議シ定額ノ旅費ニ對シ必要ノ增額ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　各省大臣ハ臺灣在勤中廢官退官若クハ非職トナリタル者ニ前官若クハ本官相當以下ノ歸鄉旅費ヲ給スルコトヲ得但自己ノ便宜又ハ刑事裁判及懲戒處分ニ由リ退官ノ者ハ此ノ限ニアラス

前項ノ場合ニ於テ日當ヲ給スルトキハ第十六條ノ例ニ依ル

臺灣在勤中死亡ノ者アルトキハ本條ニ準シ歸鄉旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

附　則

里數詳カナラサル臺灣各地方ノ旅行里程ハ當分ノ內所屬長官ノ認定スル所ニ依ル

勅令第百二十號參照

閣令第十四號內國旅費規則（明治十九年六月九日官報ノ抄錄

第十六條　前二條ノ場合ニ於テ日當ヲ支給スル爲メ其日數ヲ計算スルハ汽車旅行ハ一日二百哩詰汽船旅行ハ一日百海里詰陸路旅行ハ一日十二里詰トス但距離接近シテ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行時間ハ十二時間トシ其日數ヲ計算スヘシ

朕臺灣守備混成旅團司令部條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

陸軍大臣　侯爵大山巖

勅令第百二十一號

臺灣守備混成旅團司令部條例

第一條　混成旅團長ハ陸軍少將ヲ以テ之ニ補シ臺灣總督ニ隸シ部下軍隊ヲ統率シ所轄守備管區內ノ警備及匪徒鎭壓ノ事ニ任ス

第二條　混成旅團長ノ部下軍隊ノ出戰準備ヲ整理シ又部下軍隊ノ練成ニ就キ其責ニ任ス

第三條　混成旅團長ハ守備管區內ニ在ル陸軍各部各隊ノ軍紀風紀ヲ統監シ軍法會議ヲ管轄ス

第四條　混成旅團長ハ守備管區內ノ靜謐ヲ維持シ陸軍諸官廳諸建築物ヲ保護スル事ニ任ス

守備管區內ノ靜謐ヲ維持スルカ爲メ兵力ヲ要スル時事急ナレハ直ニ之ニ應シテ後臺灣總督ニ報告スヘシ但其事所轄管區外ニ渉ル時ト雖モ鄰接地方ニ於テ當該管區ノ團隊長若クハ民政官ヨリ援助ヲ請求スルトキ若クハ猶豫セハ危害ニ陷ルヘキコトヲ察スルトキ亦同シ

第五條　混成旅團長ハ守備管區內ノ警備及匪徒鎭壓ノ事ニ關シ要スレハ其管區內ニ駐在セル憲兵隊長及陸軍諸官廳ノ長官若クハ其派出員ニ命令スルノ權ヲ有ス

第六條　疾疫其他非常ノ時ニ際シ混成旅團長一時部下軍隊ヲ移轉セシメントスルトキ至急ヲ要スレハ之ヲ實行シテ後臺灣總督ニ報告スヘシ

第七條　混成旅團長ハ守備管區內ニ在ル海軍官憲竝ニ民政官衙ト交通シ必要ニ際シテハ協議シテ事ヲ處スルヲ得但後直チニ之ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第八條　混成旅團長ハ隨時ニ部下軍隊ヲ檢閱シ其實況ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ

第九條　混成旅團司令部ハ左ノ各部ヨリ成ル

一　參謀部

二　副官部

參謀部及副官部ヲ合シテ特ニ幕僚ト稱ス

三　監督部

四　軍醫部

五　獸醫部

六　法官部

第十條　參謀長ハ幕僚ノ事務ヲ統監シ混成旅團長ニ對シ事務整理ノ責ニ任ス

第十一條　幕僚ノ各將校及軍吏ハ參謀長ノ監視ヲ受ケ各自擔任ノ事務ヲ掌ル

第十二條　監督部長軍醫部長獸醫部長及法官部長ハ混成旅團長ニ隸シ各其主任ノ事ニ就キ事務整理ノ責ニ任ス但監督部長ハ給與上ニ付テハ臺灣總督府軍務局陸軍部長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十三條　幕僚ノ各將校及軍吏竝ニ各部長ヨリ混成旅團長ニ具申スヘキ事ニ就テハ先ツ參謀長ノ承認ヲ得ヘキモノトス

朕陸軍懲罰令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十九年四月六日

陸軍大臣　侯爵大山巖

勅令第百二十二號

陸軍懲罰令中左ノ通改正ス

第四條　前條ニ揭クルモノノ外ハ左ノ區別ニ從ツテ處分スヘシ

一　將官竝ニ獨立ノ職ニ在ル上長官ハ前條第一項ニ同シ

二　獨立セサル職ニ在ル上長官竝ニ獨立ノ職ニ在ル士官ハ前條第二項ニ同シ

三　獨立セサル職ニ在ル士官ハ前條第三項ニ同シ

四　前各項ノ場合ニ於テ將官又ハ上長官ヲ以テ充ツル職ニ在ルモノハ將官、上長官又ハ士官ヲ以テ充ツル職ニ在ルモノハ上長官、士官又ハ准士官ヲ以テ充ツル職ニ在ルモノハ士官ニ同シ

五　一時限リ部下ニ屬シ又ハ指揮下ニ屬スルモノノ懲罰ハ前條竝ニ本條ニ同シ

勅令第百二十二號參照

陸軍省達乙第七十三號達陸軍懲罰令（明治十四年十二月二十八日）抄錄

第三條　各軍隊ノ隊長ハ左ノ區別ニ從テ處分スヘシ

一　聯隊長ハ部下ノ軍人三十日以內ノ謹愼營倉

二　大隊長ハ部下ノ士官十日以內ノ謹愼下士二十日以內ノ營倉

三　中隊長ハ部下ノ士官十日以內ノ營倉兵卒二十日以內ノ營倉

獨立若クハ分屯ノ大隊長及憲兵隊長ハ第一項ニ獨立若クハ分屯ノ中隊長及分遣隊長タル中少尉竝ニ憲兵分隊長ハ第二項ニ軍樂隊長ハ第三項ニ同シ

第四條　參謀本部各局長陸軍大學校長砲工學校長陸地測量部長士官學校長砲兵會議長工兵會議長乘馬學校長砲兵射的學校長幼年學校長要塞砲兵幹部練習所長聯隊區司令官警備隊司令官軍吏學舍長軍醫學校長近衞軍醫長師團軍醫長ハ前條第一項ニ軍馬育成所長蹄鐵學舍長衞成病院長教導團病院長ハ同第二項ニ砲兵工廠生徒學舍長輜重廠長武庫主管タル財官警備隊砲兵隊長監獄長重症病馬治療所長ハ同第三項ニ準シテ其處分ヲ爲スコトヲ得

教官ニシテ部隊ヲ率非他方ニ出ツルトキ其最高級ノ者懲罰ノ處分ヲ爲スコトヲ得其權限大中佐ハ前條第一項ニ少佐ハ第二項ニ大尉ハ第三項ニ準ス

朕海軍戰時給與規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

3828

勅令第百二十三號

明治二十七年勅令第百三十六號海軍戰時給與規則第九條第一項ノ但書ヲ削除ス

勅令第百二十三號參照

勅令第百三十六號海軍戰時給與規則（明治二十七年八月三日官報）抄錄

第九條第一項

戰地若クハ臨戰合圍地境ニ在リ又ハ派遣セラルヽ准士官以上及候補生ニハ手當トシテ一圓限リ俸給ノ三十日分、文官ニハ俸給ノ一箇月分ヲ給ス但明治二十七年勅令第六十四號海軍臨時給與規則ニ依リ既ニ手當金ヲ受ケタル者ニハ之ヲ給セス

○訓令

大藏省訓令第七號

營舩廳　北海道廳　府縣
稅關　廣島鑛山　造幣局
印刷局　宮房第四課

本年三月當省訓令第四號明治二十九年度當省所管歲入科目表中左表ノ通リ改正削除追加ス

但歲入經常第四款雜收入中第一項懲罰及沒收金ヲ第二項トシ以下各項順次繰下ク

明治二十九年四月七日　大藏大臣　子爵渡邊國武

明治二十九年度大藏省所管歲入科目表中改正刪除追加表

歲入經常部

第二款　登錄及印紙收入			改正
	第一項　登錄收入		改正
		第一目　登錄收入	改正
	第二項　印紙收入		改正
		第一目　登記印紙料	改正
		第二目　訴訟用印紙料	改正
第二款　免許及手數料			改正
	第一項　印紙料		改正
		第一目　登記印紙料	改正
		第二目　訴訟用印紙料	改正
第二款　登錄及印紙收入			削除
	第一項　登錄收入		削除
		第一目　登錄收入	削除
	第二項　印紙收入		削除
		第一目　登記印紙料	削除
		第二目　訴訟用印紙料	削除
第二款　免許及手數料			削除
	第一項　印紙料		削除
		第一目　登記印紙料	削除
		第二目　訴訟用印紙料	削除
第三款　雜收入			改正
	第三項　利子收入		改正
		第一目　利子收入	改正
第三款　雜收入			削除
	第三項　利子收入		削除
		第一目　利子收入	削除
第四款　雜收入			改正
	第一項　諸免許及手數料		改正
		第八目　船舶健康證手數料	改正
		第十目　海員雇入雇止證書公認手數料	改正
		第十一目　居留地貸下地券手數料	改正
		第十二目　外國人內地旅行免狀手數料	改正
		第十三目　外國人相對貸借留手數料	改正
		第十四目　居留地營業鑑札及人力車鑑札共徵手數料	改正
		第十五目　臨時開廉手數料	改正
		第十七目　外國人諸證書手數料	改正
第四款　雜收入			削除
	第一項　諸免許及手數料		削除
		第八目　船舶健康證手數料	削除
		第十目　海員雇入雇止證書公認手數料	削除
		第十一目　居留地貸下地券手數料	削除
		第十二目　外國人內地旅行免狀手數料	削除
		第十三目　外國人相對貸借留手數料	削除
		第十四目　居留地營業鑑札及人力車鑑札共徵手數料	削除
		第十五目　臨時開廉手數料	削除
		第十七目　外國人諸證書手數料	削除
歲入臨時部			
第八款　償金繰入			追加
	第一項　償金繰入		追加
		第一目　償金繰入	追加
第十款　公債募集金			追加
	第一項　事業公債募集金		追加
		第一目　事業公債募集金	追加
第十一款　臨時軍費資金			追加
	第一項　臨時軍事費特別會計剩除金繰入		追加
		第一目　臨時軍事費特別會計剩除金繰入	追加
	第二項　一時賜金充用軍事公債		追加
		第一目　一時賜金充用軍事公債	追加

大藏省訓令第八號

明治二十九年度歲入第二款中登錄及登記印紙ノ收入ハ國稅徵收ノ規程ニ據リ取扱ヒ金庫ハ租稅トシテ整理スヘシ

前項ニ依リ發スル徵稅令書若クハ納付書拂込書ニハ其欄外ニ租稅ノ印ヲ押捺スヘシ

登錄稅法施行後已ニ租稅外トシテ收入ヲ爲シタルモノハ明治二十七年當省訓令第三十號ニ準據シ之カ訂正ヲ爲スヘシ

明治二十九年四月七日

大藏大臣　子爵渡邊國武

大藏省訓令第八號參照

明治二十七年九月大藏省訓令第三十號ハ歲入歲出年度科目所管廳誤記訂正手續ナリ

北海道廳　府縣

收入官吏　金庫出納役

○告示

大藏省告示第三十一號

一軍事公債額面參萬圓

但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾八圓九拾錢

右明治二十八年大藏省令第三號ニ據リ本月六日發行セリ

明治二十九年四月七日

大藏大臣　子爵渡邊國武

遞信省告示第七十一號

本月七日ヨリ左記郵便受取所ニ於テ小包郵便ヲ取扱ハシム

明治二十九年四月七日　遞信大臣　白根專一

國名　市名　受取所名

武藏國　東京市　新富町郵便受取所

遞信省告示第七十二號

本月十六日ヨリ京都市上京區京都烏丸下立賣郵便受取所ヲ同市同區槙木町通烏丸西入蓑安町ヘ移轉シ京都槙木町烏丸郵便受取所ト改稱ス

明治二十九年四月七日　遞信大臣　白根專一

正誤

去月二十八日豫算欄四三七頁上段二十五行「第二款」ノ一行ハ總テ一字上リニスヘキノ誤同三十日勅令第七十一號海軍艦船條例第二十三條中之ヲハ之ニノ誤同第三十七條中他ノ下ニ「ノ」ノ字ヲ脫シ同三十一日勅令第九十四號臺灣總督府直轄諸學校官制第一條中二行學校ノ上ノ「學」ノ字ハ衍同勅令第九十九號臺灣總督府職員官等俸給令第三條中撫墾署ノ誤本月一日官報號外勅令第百十五號中兵庫縣西宮警察署管轄區域ノ內島尾村ハ鳴尾村、昨六日勅令第百十七號中七四頁上段五行馬匙ハ馬櫪ノ誤モ誤

本月一日內務省告示第三十五號中仍ノ下ニ「明治二十九年四月一日ヨリ」ノ十二字ヲ脫シ又四月一日ハ三月三十一日ノ誤

內務書記官

○敍任及辭令

敍從五位　正六位勳五等功四級　吉見　直養
陞敍高等官六等　一等郵便電信局長從七位　木槻　幸吉

御用有之英國へ被差遣　大藏大臣祕書官兼大藏省參事官　早川千吉郎
依願免本官　內務技師醫學博士　中濱東一郎
醫術開業試驗委員長ヲ免ス　內務技師醫學博士　北田　新
（各通）　非職　秋田縣技師　退職判事　藏瀨　眞宣
　　　　　　　　　　　　　藤浦　三健

遞信省訓令第一號參照

遞信省訓令第二號電信柱敷地手當金仕拂取扱順序（明治二十六年六月二十九日）抄錄

第二條　北海道廳長官府縣知事ハ仕拂委任額以內ニ於テ其管內ノ電信柱敷地手當金受領者ヘ交付スヘキ金額ノ仕拂命令ヲ發スヘシ

依願免本官　電話交換局技師兼東京郵便電信學校敎授　五十嵐秀助
（各通）　遞信技師兼東京郵便電信學校敎授　岡本桂次郎
免兼官（以上六月四日內閣）

3828

特旨ヲ以テ位一級被進（四月六日宮内省）

非職ヲ命ス（四月六日内務省）

日本銀行監理官ヲ命ス（四月一日大藏省）

補海軍大學校副官

兎本職補千代田水雷長

海軍機關少監正六位勲五等功四級　栃木縣技師　小西文之進

大藏大臣秘書官兼大藏省參事官　早川千吉郎

海軍大尉　新井　次郎

海軍大尉　宮地　貞長

海軍大尉　高木　助一

海軍大尉　川合　昌吾

海軍大尉　山屋　他人

海軍大尉　藤田　定市

海軍大尉　伊藤乙次郎

海軍大尉　太田三次郎

海軍大尉　松村　龍雄

海軍大尉　吉見　直養

（各通）

兎本職竝兼職

補海軍砲術練習所敎官兼分隊長

兎本職竝兼職

補海軍砲術練習所敎官兼分隊長

扶桑砲術長兼分隊長海軍大尉　牟田　寛六

扶桑航海長兼分隊長海軍大尉　大城源三郎

海軍水雷術練習所敎官兼分隊長海軍大尉　川合　昌吾

龍田水雷長兼分隊長海軍大尉　山屋　他人

浪速航海長兼分隊長海軍大尉　藤田　定市

海軍砲術練習所敎官兼分隊長海軍大尉　伊藤乙次郎

比叡航海長兼分隊長海軍大尉　太田三次郎

比叡砲術長海軍大尉　松村　龍雄

八重山分隊長海軍大尉　小西文之進

扶桑砲術長兼分隊長海軍大尉　早川千吉郎

扶桑航海長兼分隊長海軍大尉　眞田　鵬松

（各通）

兎本職補海軍水雷術練習所敎官兼分隊長

兎本職補秋津洲砲術長

兎本職補濟遠分隊長

兎本職補和泉航海長

兎本職補比叡砲術長

兎本職補浪速航海長兼分隊長

兎本職補秋津洲水雷長

兎本職補比叡航海長兼分隊長

海軍大學校副官海軍大尉　田邊　直維

秋津洲水雷長海軍大尉　森　亘

（橫須賀水雷團第二水雷敷設隊分隊員海軍大尉）

秋津洲分隊長海軍大尉　磐城分隊長海軍大尉　正戸爲太郎

龍田航海長海軍大尉　原　靜吾

天龍分隊長海軍大尉　山口九十郎

（橫須賀海兵團分隊長海軍大尉）　河野左金太

（橫須賀水雷團第一水雷敷設隊分隊長海軍大尉）　佐藤鐵太郎

吳海兵團分隊長海軍大尉　高島萬太郎

海門航海長海軍大尉　鈴木貫太郎

（橫須賀水雷團第一水雷敷設隊分隊長海軍大尉）　土山　哲三

兎本職補橫須賀水雷團第二水雷敷設隊分隊長

兎本職補扶桑砲術長兼分隊長

兎本職補龍田航海長

兎本職補高雄航海長

兎本職補龍田水雷長兼分隊長

兎本職竝兼職補海門航海長　赤城航海長兼分隊長　海門分隊長海軍大尉　稻葉宗太郎

（吳水雷團第一水雷敷設隊分隊長海軍大尉）　磯部　謙

千珠航海長海軍大尉　千坂智次郎

嚴島分隊長海軍大尉　中村松太郎

滿珠航海長海軍大尉　中野　直枝

（吳水雷團第一水雷敷設隊分隊長海軍大尉）　大石　士郎

兎本職補橋立分隊長

兎本職補千珠航海長

兎運送船監督補赤城航海長兼分隊長

兎運送船監督補磐城分隊長

兎本職補千珠分隊長

兎本職竝兼職

補海軍砲術練習所敎官兼分隊長

兎本職補吳水雷團第一水雷敷設隊分隊長

兎本職補愛宕分隊長

兎運送船監督補海門分隊長

兎運送船監督補嚴島分隊長

兎本職補千珠分隊長

大島乘組被免橫須賀水雷團第一水雷敷設隊分隊長心得被仰付

赤城乘組被免佐世保水雷敷設隊分隊長心得被仰付

兎本職橫須賀海兵團分隊長心得被仰付

葛城乘組被免赤城乘組被仰付

高千穗乘組被免大島乘組被仰付

兎本職葛城乘組被仰付

兎本職高千穗乘組被仰付

橋立分隊長海軍大尉　町田駒二郎

愛宕分隊長海軍大尉　朝倉耕一郎

千珠分隊長海軍大尉　眞田　鵬松

海軍大尉　金子　滿喜

海軍大尉　岡田　平次

（橫須賀水雷團敷設艇隊艇長海軍大尉）　鈴木　多吉

（吳海兵團分隊長海軍大尉）　中島　源藏

（佐世保水雷團佐世保水雷敷設隊分隊長海軍大尉）　田中　銑郎

海軍大尉　石川壽次郎

武部　岸郎

荒川　仲吾

海軍少尉　山路　一善

（橫須賀海兵團附海軍少尉）　森山慶三郎

（橫須賀水雷團第一水雷敷設隊附海軍少尉）　石井力二郎

海軍少尉　井原　頼一

海軍少尉　和田辛次郎

福地嘉太郎

（佐世保水雷團水雷艇隊附海軍少尉）　遠矢勇之助

海軍大尉　高木　助一

大城源三郎

海軍大尉　川合　昌吾

海軍大尉　外波内藏吉

海軍大尉　山屋　他人

海軍大尉　藤田　定市

海軍大尉　上泉　德彌

海軍大尉　佐藤鐵太郎

海軍大尉　伊藤乙次郎

海軍大尉　太田三次郎

海軍大尉　有森　元吉

海軍大尉　江副　昭元

海軍大尉　松村　龍雄

海軍大尉　和田垣幸太郎

（各通）

海軍大學校學生被仰付（以上四月六日海軍省）

年俸金七百二十圓下賜　兵庫縣豐岡尋常中學校長　田中勝之丞

三級上俸下賜（以上四月兵庫縣）　兵庫縣尋常中學校敎諭　土井龜之進

年俸九百六十圓給與（三月十日新潟縣）　新潟縣尋常中學校敎諭　松井喜三郎

年俸千二百圓下賜（四月三日佐賀縣）　佐賀縣尋常中學校長　下條幸次郎

○宮廷錄事

○勲章御奉納　神宮へ差遣サレタル九條掌典長ヲシテ本月二日勲章ヲ御奉納アラセラレタリ卽チ左ノ如シ

寶冠章（自勲一等至勲五等）　勲一等旭日桐花大綬章　一個

瑞寶章（自勲八等至勲七等）　大勲位菊花章頸飾　一個

金鵄勲章（自功一級至功七級）　八個

○儀仗兵派遣　神宮報告祭儀仗兵トシテ第三師團歩兵第十九聯隊士官二人、准士官一人、下士七人、兵卒六十八人、看護手一人ヲ去月三十一日伊勢大廟ニ派遣セリ

○彙報

○官廳事項

○官吏褒奬

御料局名古屋支廳長御料局理事松本收ハ本月一日出京●褒ニ　神宮へ勅使トシテ參向ノ九條掌典長ハ同四日歸京セリ

褒ニ出京ノ土木監督署技師小林八郎ハ本月一日、土木監督署技師宮城島庄吉ハ同二日就モ出發歸任●褒ニ第二土木監督區へ出張ノ內務技師三宅次郎ハ同日歸京セリ

褒ニ福岡縣下ヘ出張ノ工科大學敎授的場中ハ一昨五日歸京セリ

褒ニ匈牙利竝ニ歐米各國ヘ差遣ヲ命セラレタル田遞信省通信局長及遞信大臣祕書官兼遞信省參事官松永武吉ハ一昨五日就モ出發セリ

原福島縣知事ハ昨六日上京●褒ニ上京ノ沖和歌山縣知事ハ同日出發歸任セリ

○拓殖務省竝臺灣總督府位置　拓殖務省ノ位置ハ遞信省ノ次ニ、臺灣總督府ノ位置ハ拓殖務省ノ次會計檢查院ノ前ニ列序スルコトニ定メラレタリ

○歩兵第一旅團司令部　歩兵第一旅團司令部ハ當分ノ內第一師團司令部構內ニ於テ事務ヲ取扱フ

○華族卒去　正三位子爵五條爲榮嗣子從五位五條爲明ハ本月二日卒去セリ

司法及警察

○辯護士名簿登錄取消　水戸地方裁判所所屬辯護士毛利文質ノ請求ニ依リ本月一日同裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消サレタリ

○出火　新潟縣福島岡山ノ三縣ニ於ケル出火左ノ如シ

新潟縣　本月二日午前一時四十分　新潟市四堺前通七番町ヨリ出火全燒七十二戶、土藏及納屋六棟半燒五戶破損一棟貳戶傷者二人アリ同四時三十分鎭火原因過失ナリ

福島縣　去月三十一日午後十一時五十分安積郡小原田村大字小原田ヨリ出火十戶燒失貳傷一人アリ本月一日午前二時鎭火原因放火ナリ

岡山縣　去月二十五日正午同賀郡水田村大字宮地官林ヨリ出火十町歩燒失同日午後六時鎭火原因詳ナラス

○破產管財人死去　大阪地方裁判所管內破產管財人愚智忠兵衞ハ去月二十七日死去セリ

○陸海軍

○水路告示第七百八十三號

艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ速ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補センコトヲ要ス

第二〇一〇項

海軍海圖第一二三號ニ關係ス

九州西岸　大村灣外部

九十九島灣暗礁ノ發見

佐世保水雷隊敷設部司令淺井少佐ノ實驗報告ニ據レハ九十九島マグラ島ノ西約二百碼ノ處ニ於テ一礁ヲ發見セリ

該礁ハ明治二十九年三月十五日午後ノ低潮後一時ニ於テ其頂干出スルコト一呎許其脈ハ周圍ニ延張スルモノヽ如シ左ニ其概位ヲ揭ク

概位　北緯三三度八分二五秒　東經一二九度三八分五五秒

第二〇一一項

海軍海圖第九五號第二一號第五四號第一四三號潮鮮水路誌第二五九頁ニ關係ス

朝鮮東岸　蔚山灣近海

岩礁ノ發見

明治二十九年三月二十五日小倉鳥海艦長ノ報告ニ據レハ該艦ハ蔚山灣ヨリ釜山港ニ回航ノ途海圖ニ記載セサル岩礁ヲ發見セリ急航中精測スル能ハサリシモ其概位置ハ北緯三五度一〇分東經一二九度二〇分ノ地ヨリ南西ヘ長サ約五鏈擴延シ其端ハ水面上約五呎ニシテ其餘ハ低潮ニ洗フ（上村常備艦隊參謀長通報）

右告示ス

明治二十九年四月七日　水路部長　肝付兼行

○沖繩分遣隊　第六師團歩兵第二十四聯隊士官五人、准士官一人、歩兵曹長一人、歩兵一等軍曹五人、歩兵二等軍曹四人、上等兵十四人、看護手一人、二二等卒百六人ヲ去月二十日沖繩ニ分遣セリ（陸軍省）

○演習及行軍　近衞野戰砲兵聯隊第一中隊ハ今七日青山練兵場ニ於テ空包發火演習ヲ施行ス（陸軍省）●第六師團歩兵第二十三聯隊補充大隊將校九人、下士以下二百八十六人、馬四一頭ハ去月二十七日熊本縣上益城郡御船町附近ニ泊行軍ヲ施行セリ（熊本縣）

○退役　後備陸軍歩兵少尉加藤重任ハ去月一日後備滿期ニ依リ退役ト爲レリ（陸軍省）

○縣徵兵參事員改選　鹿兒島縣ニ於テ縣徵兵參事員ヲ改選セシニ奧田直之助武滿義雄、樋山資一、美義爲孰モ當選セリ（鹿兒島縣）

○軍艦竣著　佛國軍艦「フォルフェー」ハ本月一日上海ニ向ヒ長崎港拔錨、露國軍艦「アドミラル、コルニロフ」ハ同二日仁川ヨリ長崎港ニ投錨セリ（長崎縣）

官報 3828 明治29年4月7日

○産業

○金貨及銀相場　去月三十日ヨリ本月四日ニ至ル一週間金貨及銀相場竝ニ前週平均比較高低ハ左ノ如シ金貨ハ日本銀行ノ報告ニ據ル

日別	金貨（百圓ニ付紙幣）	銀（百圓ニ付紙幣）
三十日	一八〇・六〇（午後）	九〇・三五（午後）
三十一日	一八〇・一〇（〃）	九〇・一〇（〃）
一日	一八〇・一〇（〃）	九〇・一〇（〃）
二日	一八〇・〇〇（〃）	九〇・三五（〃）
四日	一八〇・〇〇（午後）	九〇・一〇（午後）
平均	一八〇・一〇	九〇・〇六
前週平均	一八〇・一〇	九〇・三五

○刺繍及諸染物景況　京都市ニ於ケル昨二十八年中刺繍製品及各種染物業ノ景況ハ左ノ如シ（京都府）

刺繍　本年ニ於ケル刺繍製造業ハ外國向ニ在リテハ漸次好況ヲ顯シ其製造高モ亦著シク增加セリ是レ蓋シ前年ニ於テ不振ナリシ其反動ヲ來セシト一ハ戰勝ノ結果自ラ之カ需要ノ途ヲ開キタルニ外ナラス又內國向ノ製品モ本年ハ帶、增加シ年末ニ至リテハ最モ好況ニシテ即チ屏風地、額掛、壁懸掛、「テーブル」掛、小卓掛、半襟、衣類、打掛、「ハンカチーフ」、椅子掛等ノ製造額ハ四十一万三千九百十八枚此價額三十五万七千八百一圓ナリ

諸染物　本業ハ近時倍々隆盛ニ赴キ本年ハ著シク營業者ノ數ヲ增シ隨テ染價ノ如キモ二十七年ニ比スレハ平均八九分ノ增加ヲ見ルニ至レリ主トシテ各地方ニ於テ好況ナリシヤメ購買力ノ增シタルニ依ル雖モ一ハ營業者ノ然心ト勉強セシ結果ニシテ額ル盛況ナリ即チ友仙染、茶染、藍染、絲綛生糸絲染、紅染絲綛諸色染、中形絣染、愛染、絣染、引染、摺染等ノ染價ハ百一万千四百二十七圓ナリ

○家禽品評會　東京市上野公園內ニ於テ本月四日ヨリ明八日マテ第七回家禽品評會ヲ開設シ公衆ノ觀覽ニ供シ且ツ出品ハ審查ノ上優等品ニハ賞狀、賞牌ヲ付與スル旨日本家禽協會幹事長玉利喜造ヨリ居出テタリ（東京府）

正誤

昨六日本欄通運ノ部紺蓙製造免許ノ項佐賀字右衛ノ下ニ「門」ノ字ヲ脫ス（報告誤）　遞信書記官

同日本欄七九頁下段十行本七ハ本件ノ誤植

○公使館及領事館報告

○在京城帝國人戶口數　本年一月末調朝鮮國京城在留本邦人ノ數ハ男千五十八人、女六百七十七人、合計千七百三十五人、戶數四百八十九ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ人口ニ百四人、戶數ニ十一ヲ減シ又同年二月末調ニ據レハ男八百九十人、女五百四十三人、合計千四百三十三人、戶數四百ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ人口ニ三百二人、戶數ニ八十九ヲ減セリ（本年二月三日本欄內參看）（外務省）

○本邦紐育間貿易景況　昨二十八年十二月中本邦紐育間貿易景況ニ附キ同地駐在帝國一等領事宮川久次郎ヨリ本年一月三十日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

本年一月末調朝鮮國京城在留本邦人ノ數ハ男千五十八人、女六百七十七人、合計千七百三十五人、戶數四百八十九ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ人口ニ百四人、戶數ニ十一ヲ減シ又同年二月末調ニ據レハ男八百九十人、女五百四十三人、合計千四百三十三人、戶數四百ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ人口ニ三百二人、戶數ニ八十九ヲ減セリ（本年二月三日本欄內參看）（外務省）

○米國絹織物景況　昨二十八年中米國ニ於ケル絹織物ノ景況ニ附キ紐育駐在帝國一等領事宮川久次郎ヨリ本年一月二十八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

昨二十八年ハ年初ヨリ絹織物原ル好況ヲ呈シ春季ノ商況ハ當業者ニ滿足ヲ與ヘリ無地物、綟及模樣物トモ其需要多量ニシテ縞及模樣物中殊ニタフタ、織及紋織ハ何種ヲ問ハス好況ヲ呈シ織元ニ於テ種々手ヲ盡シ製造ヲ急キタルモ尙ホ注文ニ應スル能ハサル狀況ニシテ又卸小賣店ニ於テハ容易ニ之ヲ賣捌クコトヲ得タリ春季既ニ斯ノ如キ勢ナリシヲ以テ秋季ニ至リテモ絹物ハ衣服及家具用トシテ引續キ需要大ナルヘシトノ豫想ヨリ秋季ノ注文ハ案外ニ早ク且ツ多量ナリキ蓋シ春季ハ異常ノ好況ナリシタメ注文ノ大部分ハ織屋ノ手ニ應スル能ハサリシヲ以テ注文主ハ斯ク例年ヨリ早ク秋季ノ注文ヲ爲シタル傾アリシ

七八月ノ交ニ當リ秋季注文品續々成リテ織屋ヨリ注文主ニ交付セリ而シテ之ヲ注文セシ卸賣店ニ在リテハ其品物ノ賣捌ニ著シキ困難ヲ感セサリシカ俄然玆ニ一頓挫ヲ來セリ其放ハ豫テ報告セル如ク昨年八九月ニ入リ殘荷甚タ多カリシカタメ怒テ絹物ノ賣方ニ逾留ヲ來シ小賣呉服店ハ不景氣ヲ訴フルニ至リ遂ニ秋季ノ注文ヲ減スルニ至レリ是レ蓋シ多量ニ仕入レタル中下等ノ無地物及紋入、「タフタ」織等ハ見込ノ如ク賣捌ケサル結果遂ニ原價ヨリ低廉ニ賣放ノ已ムヲ得サルニ出テタレハナリ而シテ當時恰モ原料ノ相場騰貴セシヲ以テ製造元ノ困難一方ナラス凡テ昨年秋季ノ景況ハ不定ニシテ變化極リナク隨テ織屋並ニ卸店ハ通常ノ規範ヲ脫シテ臨機ノ處置ヲ爲スノ必要ヲ感セリ

昨年秋季ニ於テ見込注文ノ結果不良ナリシト當時市場ノ不景氣ナリシトニ由リ當年春季ノ注文ハ自ラ其額多カラス其品種ノ殆ト紋入、「タフタ」織及經絲染縞樣物ニ限レルモノヽ如シ昨年十月以降ハ小賣店ニ於ケル上等絹織物ノ賣方稍ヽ頻繁ヲ告ケタルヲ以テ市況回復ノ前兆ト爲スモノアリ之ヲ要スルニ本年春季ノ景氣ハ目下駸々好況ナルカ如キモ未タ十分好望ヲ抱クノ氣運ニ逢セスト云ヘリ

○外報

北米合衆國

○千八百九十五年鑛業統計　今回紐育ノ工學及鑛業雜誌ニ掲ケタル千八百九十五年ノ北米合衆國鑛業統計ニ據レハ同年中ニ內國產出ノ諸鑛ヨリ製出シタル諸種金屬ノ價額ハ總計二億四千九十九万七千二十弗ニシテ之ヲ前千八百九十四年ノ同價額總計一億九千四百九万五千六百二十二弗ニ比スレハ凡ソ二割四分二厘ノ增加ヲ爲セリ今千八百九十四年同五年ノ二箇年ニ製出セラレタル諸種金屬ノ數量及價額ヲ區別シテ表示スレハ左ノ如シ

普通ノ計算方	千八百九十四年 數量	千八百九十四年 價額	千八百九十五年 數量	千八百九十五年 價額
亞爾密紐謨	封	八一七、〇〇〇	封	八九〇、〇〇〇
安質母尼	米噸	四九〇、五六〇	米噸	四六七、五六〇
銅	封	三九、一〇〇	封	四一、五〇〇
金	「トロイ、オンス」	三五、三〇四、三四一	「トロイ、オンス」	三八、〇四九、八四〇
鐵（銑鐵）	英噸	一、九三六、七二八	英噸	一、九三二、六八七
鉛（紐育相場）	米噸	一六〇、八六七	米噸	一七〇、九五五
水銀	七十六封半入ノ壜	三〇、四四〇	七十六封半入ノ壜	三〇、四四〇
銀（普通相場）	「トロイ、オンス」	四九、八四六、八七五	「トロイ、オンス」	五一、四〇三、五三一
亞鉛	米噸	七四、〇〇四	米噸	五二、二〇九、八八二
諸種金屬合計		一九九、九五〇、七八一		二一九、四〇、九五、六三一
石炭	噸	二、八九〇、〇〇〇	噸	二、九五〇、〇〇〇
鐵礦	英噸	二、八九〇、〇〇〇	英噸	二、九五〇、〇〇〇
酸化亞鉛	米噸	二二、八四	米噸	二二、六四
假額總計		一、七二六、二四一、六五		一、九五八、一四一、三五

千八百九十五年ノ石炭產出額ハ前年ニ比スレハ一割六分六厘即チ二千七百二十七万八千百二十九弗、鐵礦產出額ハ同上一億一割二分一厘即チ千六百六十五万弗ヲ增加セリ

前表中ニ漏レタル諸鑛物ノ統計ハ既ニ蒐輯セラレタレトモ其細目ニ於テハ不正確ニシテ未タ公示スルニ足ラサルモノアリ然レトモ右等諸鑛物ノ產出額ハ前表中ノ諸種金屬及石炭、鐵礦、酸化亞鉛ト略ヽ同シク殆ト二割二分九厘ノ割合ヲ以テ增加シタルカ如シ然レハ則チ合衆國ノ鑛物產出額總計（鐵礦ヲ合算シテ）ハ千八百九十四年ノ五億六千八百二十万六千五百弗ニ對シ千八百九十五年分ヲ六億九千八百三十二万五千弗ト見テ大差ナカルヘシ（本年一月紐育銀行雜誌）

○觀象

○全國氣象　四月三日

氣壓（セプルデカス氣壓計ヲ以テ水銀柱ノ高サヲ測ル）

區別	觀測所	前日午前六時	前日午後二時	前日午後六時	最高	最低
一	宮城	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	福島	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	山形	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
二	秋田	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	盛岡	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	青森	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
三	札幌	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	函館	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	根室	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
四	新潟	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	金澤	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	名古屋	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
五	伏見	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	大阪	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	神戶	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
六	岡山	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	廣島	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	松江	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
七	下關	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	高知	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	德島	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
八	長崎	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	熊本	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
	鹿兒島	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六
外	臺北	二九・九七	二九・九六	二九・九七	二九・九七	二九・九六

氣溫（攝氏寒暖計ヲ以テ水ノ冰點ヲ零度トス）

區別	觀測所	前日午前六時	前日午後二時	前日午後六時	最高	最低
一	宮城	一〇・七	一四・〇	一一・九	一四・〇	一〇・七
	福島	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	山形	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
二	秋田	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	盛岡	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	青森	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
三	札幌	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	函館	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	根室	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
四	新潟	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	金澤	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	名古屋	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
五	伏見	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	大阪	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	神戶	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
六	岡山	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	廣島	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	松江	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
七	下關	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	高知	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	德島	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
八	長崎	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	熊本	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
	鹿兒島	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇
外	臺北	一〇・〇	一四・〇	一一・〇	一四・〇	一〇・〇

風雨雲（風ハビューフォルト風力ノ一ヨリ一二ニ至ル十二階ニ分ツ雨雪ハ降ル時間ヲ八時間ニ區分ス）

區別	觀測所	風 前日午前六時	風 前日午後二時	風 前日午後六時	雨雪 前日午前六時	雨雪 前日午後二時	雨雪 前日午後六時
一	宮城	北東一	北東一	北東一	晴	晴	晴
	福島	北	北	北	晴	晴	晴
	山形	北	北	北	晴	晴	晴
二	秋田	北	北	北	晴	晴	晴
	盛岡	北	北	北	晴	晴	晴
	青森	北	北	北	晴	晴	晴
三	札幌	北	北	北	晴	晴	晴
	函館	北	北	北	晴	晴	晴
	根室	北	北	北	晴	晴	晴
四	新潟	北	北	北	晴	晴	晴
	金澤	北	北	北	晴	晴	晴
	名古屋	北	北	北	晴	晴	晴
五	伏見	北	北	北	晴	晴	晴
	大阪	北	北	北	晴	晴	晴
	神戶	北	北	北	晴	晴	晴
六	岡山	北	北	北	晴	晴	晴
	廣島	北	北	北	晴	晴	晴
	松江	北	北	北	晴	晴	晴
七	下關	北	北	北	晴	晴	晴
	高知	北	北	北	晴	晴	晴
	德島	北	北	北	晴	晴	晴
八	長崎	北	北	北	晴	晴	晴
	熊本	北	北	北	晴	晴	晴
	鹿兒島	北	北	北	晴	晴	晴
外	臺北	北	北	北	晴	晴	晴

天氣（晴ハ快晴ヨリ曇ハ曇ヨリ雨ハ雨ヨリ雪ハ雪ヨリ霧ハ霧ヨリ雷ハ雷ヨリ暴風ハ暴風ヨリ地震ハ地震ヨリ各ニ區別ス）

區別	觀測所	前日午前六時	前日午後二時	前日午後六時
一	宮城	快晴	快晴	快晴
	福島	快晴	快晴	快晴
	山形	快晴	快晴	快晴
二	秋田	快晴	快晴	快晴
	盛岡	快晴	快晴	快晴
	青森	快晴	快晴	快晴
三	札幌	快晴	快晴	快晴
	函館	快晴	快晴	快晴
	根室	快晴	快晴	快晴
四	新潟	快晴	快晴	快晴
	金澤	快晴	快晴	快晴
	名古屋	快晴	快晴	快晴
五	伏見	快晴	快晴	快晴
	大阪	快晴	快晴	快晴
	神戶	快晴	快晴	快晴
六	岡山	快晴	快晴	快晴
	廣島	快晴	快晴	快晴
	松江	快晴	快晴	快晴
七	下關	快晴	快晴	快晴
	高知	快晴	快晴	快晴
	德島	快晴	快晴	快晴
八	長崎	快晴	快晴	快晴
	熊本	快晴	快晴	快晴
	鹿兒島	快晴	快晴	快晴
外	臺北	快晴	快晴	快晴

輸出入

輸出
輸入
合計

更ニ同月中ノ輸出入額要各品ニ附キ前年同月トノ比較增減ヲ示セハ左ノ如シ

輸出ノ部（紐育ヨリ帝國へ）

品名	二十八年十二月	二十七年十二月	增減
骨牘、角類	一、二八一圓	一、九一三圓	增 三四八圓
眞鍮製品	一、一四四、一一一	一、一一五、四四八	增 二八、六六三
藥品	一、一四四、一一一	一、一一五、四四八	增 二八、六六三
掛時計類	二、七五二、一一一	二、一〇〇、〇〇〇	增 六五二、一一一
棉花	八、〇七〇	七、九五〇	〃 一二〇
護謨「インキ」	一、一七二、一一一	一、三一〇、〇〇〇	減 一三七、八二八
鉛類	一、八二五	二、八七五二	減 一、〇六六
器械類	九、六五二	一、〇六六、〇〇〇	減 一、〇五六、三四八
生糸屬	九、四七六	一〇、二四四	減 七六八
藥品	一、一四一、一一一	一、一一五、四四八	增 二五、六六三
麥稈打組	二、一三一	二、一〇〇	增 三一
地蓆	八〇、三六六	一一二、六四四	減 三二、二七八
屑布	一一二、六四四	一一二、六四四	〃
生絲	一〇四、五〇六	七、九〇六	增 九六、六〇〇
製茶	二、一八九	二、一四八	增 四一
香料類	一、五三四	一、八〇八	減 二七四
木器	三、三四二	一、八〇八	減 一、四六六
右無稅品「プラッシュ」	七、二五〇	四、二八三	增 二、九六七
咽木綿	七三六	七、五六二	減 六、八二六
其他木綿製品	四、四〇	四、七四一	增 一九九
陶器	二三、六一〇	一〇、九三〇	〃 二、六八〇

輸入ノ部（帝國ヨリ紐育へ）

品名	二十八年十二月	二十七年十二月	增減
麻製品	二三、六九九	六二、八七一	減 四〇、一七二
金屬類	三、七四三	一、二五一	增 二、四九二
綿製油	二〇一	四、七五六	減 四、五五五
紙及紙製品	八、九一九	三、〇六一	〃 五、八五八
絹衣裝	三、一四一	九五九	〃 二、一八二
絹太裝地	九、六五八	一、九九四三	減 一、九八五
絹小絲	四三	七、二三九	〃 七、一九六
其他絹製品	二七、三四四	二四、八七三	〃 二、九二九
玩具	三、九一六	一、六〇七	增 二、三〇九
籐筍	一、三二二	一、三五二	減 三〇
木器	三、四二一	一、二一八	增 二、二〇三
綢毯類	四六	一、〇五九	減 一、〇一三
有有稅品			

輸出ノ部（紐育ヨリ帝國へ）

品名	二十八年十二月	二十七年十二月	增減
錫類	三五七	七四五	減 三八八
櫛齒類	一、五六七	一、一〇二	減 四五五
鋼鐵製品	三一〇	一、五六七	減 一、二五七
點燈油	三〇、〇〇〇	四八、〇〇〇	減 一八、〇〇〇
器械用油	二、九四四	三〇、〇〇〇	減 二七、〇五六
無味香油	一	二、九四四	減 二、九四三
及蠟	七四七	一二四	增 六二三
紙卷煙草	七四七八	七、四七八	減 一、〇〇〇
刻煙草類	二、三四八	六、二六八	減 三、九二〇
	四、七三二	一、二六五	增 三、四六七

○全國氣象摘要　四月二日午後十時　全國區々ノ風吹キ概ネ晴天ナリ○溫度ハ佐多岬ニ十四度、上川ニ氷點下四度ナリ○四月三日午前六時　全國區々ノ風吹キ概ネ晴天ニシテ本州ノ中部ハ多少ノ霜アリ○晴雨計ハ甲府近傍ニ最高度七百七十一粍ヲ呈シ溫度ハ佐多岬ニ於テ九十四度ヨリ北海道ノ中部ニ於テハ氷點下七度ニ及ヘリ○四月三日午後二時　氣壓ノ最高度七百六十八粍ハ尾張灣近傍ニ最低七百五十九粍ハ北海道ノ東部ニ在リ○全國區々ノ風吹キ一部晴天ニシテ溫度ハ熊本ニ二十二度、上川ニ三度ヲ示セリ

○全國天氣豫報　四月七日　自四月七日午後六時　至四月八日午後六時

（一ヨリ三）南ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ（四ヨリ六）南又ハ東ノ風、雨（七）東ノ風、天氣變リ易ク雨模樣アリ

○東京地方天氣豫報　四月七日分　自四月六日午後六時　至四月七日午後六時

東ノ風雨

○警報　海上不穩ノ虞アリ四月六日午前七時五十分

後三時三十分四ヨリ七區ノ沿海ヲ就モ警戒ス

○地震報告　四月五日

大分外十二箇所ノ地震報告ハ左ノ如シ

| | | |

官報第三千八百二十八號附錄

明治二十九年四月七日

○辭令

陸軍歩兵上等兵　上原　馬吉
陸軍歩兵一等卒　齋藤勝太郎
陸軍歩兵一等卒　久保田八十次郎
陸軍歩兵一等卒　手塚　專助
陸軍歩兵一等卒　阿部　要吉
陸軍歩兵一等卒　富入　肇之助
陸軍歩兵一等卒　高橋　服吉
陸軍歩兵一等卒　竹内金三郎
陸軍歩兵一等卒　小原　惣吉
陸軍歩兵一等卒　齋藤嘉十郎
陸軍歩兵一等卒　細澤啓之丞
陸軍歩兵一等卒　栗林　梅治
陸軍歩兵一等卒　遠田製太郎
陸軍歩兵一等卒　吉元　清作
陸軍歩兵一等卒　有賀放太郎
陸軍歩兵一等卒　久保田清治
陸軍歩兵一等卒　坂本　幸藏
陸軍歩兵一等卒　尾池　豐吉
陸軍歩兵一等卒　鈴木宇太郎
陸軍歩兵一等卒　丸山　盛清
陸軍歩兵一等卒　羽鳥　又吉
陸軍歩兵一等卒　村田　藤吉
陸軍歩兵一等卒　吉川覺太郎
陸軍歩兵一等卒　廣木　延吉
陸軍歩兵一等卒　根岸又右衛門
陸軍歩兵一等卒　青木喜之助
陸軍歩兵一等卒　小林　彌平
陸軍歩兵一等卒　南雲　利助
陸軍歩兵一等卒　柴木　喜七
陸軍歩兵一等卒　福田　升雄
陸軍歩兵一等卒　橋爪　幸作
陸軍歩兵一等卒　細田　幸藏
陸軍歩兵一等卒　高田　喜藏
陸軍歩兵一等卒　嶸峨藤三郎
陸軍歩兵一等卒　竹本碩太郎
陸軍歩兵一等卒　二藤　卯吉
陸軍歩兵一等卒　高橋福次郎
陸軍歩兵一等卒　高柳清三郎
陸軍歩兵一等卒　清水　善吉
陸軍歩兵一等卒　原田　勇助
陸軍歩兵一等卒　上條　光衛
陸軍歩兵一等卒　茂木　鶴作
陸軍歩兵一等卒　今井寅五郎
陸軍歩兵一等卒　木村　右作
陸軍歩兵一等卒　金子　福松
陸軍歩兵一等卒　野尻万吾陸郎
陸軍歩兵一等卒　櫻井釜吉
陸軍歩兵一等卒　伏島幸太郎
陸軍歩兵一等卒　清水　忠作
陸軍歩兵一等卒　保屋野嘉作
陸軍歩兵一等卒　田中和市
陸軍歩兵一等卒　木内　助次
陸軍歩兵一等卒　金井宇三郎
陸軍歩兵一等卒　佐藤次郎吉
陸軍歩兵一等卒　北原留彌
陸軍歩兵一等卒　小暮新五郎
陸軍歩兵一等卒　吉原小三郎
陸軍歩兵一等卒　宮入肇之助
陸軍歩兵一等卒　高橋服吉
陸軍歩兵一等卒　竹内金三郎
陸軍歩兵一等卒　小原惣吉
陸軍歩兵一等卒　高瀨平吉
陸軍歩兵一等卒　長岡愛作
陸軍歩兵一等卒　坂爪喜太郎
陸軍歩兵一等卒　須藤仙三郎
陸軍歩兵一等卒　八郎
陸軍歩兵一等卒　山田　圓藏
陸軍歩兵一等卒　中平　圓藏
陸軍歩兵一等卒　小出　金藏
陸軍歩兵一等卒　北澤　孝方
陸軍歩兵一等卒　熊谷　彌市
陸軍歩兵一等卒　市川　駒吉
陸軍歩兵一等卒　笹井藏次郎
陸軍歩兵一等卒　中山甚太郎
陸軍歩兵一等卒　田中　万吉
陸軍歩兵一等卒　久澤松五郎
陸軍歩兵一等卒　廣吉　與作
陸軍歩兵一等卒　山崎　丸山
陸軍歩兵一等卒　小池茂十郎
陸軍歩兵一等卒　吉田吉兵衛
陸軍歩兵一等卒　橘田榮之助
陸軍歩兵一等卒　山地喜代一
陸軍歩兵一等卒　清水治郎作
陸軍歩兵一等卒　清水友吉
陸軍歩兵一等卒　石川豐三郎
陸軍歩兵一等卒　堀内幸重
陸軍歩兵一等卒　山岸勇之助
陸軍歩兵一等卒　木村朱吉
陸軍歩兵一等卒　田村富次郎
陸軍歩兵一等卒　大澤政太郎
陸軍歩兵一等卒　千朋酉松
陸軍歩兵一等卒　石井市藏
陸軍歩兵一等卒　石森勝太
陸軍歩兵一等卒　篠原德司
陸軍歩兵一等卒　三木佳連吉
陸軍歩兵一等卒　高田伴次郎
陸軍歩兵一等卒　小暮鰹一郎
陸軍歩兵一等卒　赤木菊次郎
陸軍歩兵一等卒　金子小藤次
陸軍歩兵一等卒　町田　嘉市
陸軍歩兵一等卒　立岡　直吉
陸軍歩兵一等卒　町田清五郎
陸軍歩兵一等卒　山村寅松
陸軍歩兵一等卒　鈴木　連吉

（各廻）

陸軍歩兵上等兵　小森谷金次郎
陸軍歩兵上等兵　安田龜四郎
陸軍歩兵上等兵　町田　弁三
陸軍歩兵上等兵　卯月　駒吉
陸軍歩兵上等兵　黒澤喜三郎
陸軍歩兵上等兵　大岩德三郎
陸軍看護手勤八等　關　政衛
陸軍看護手勤八等　福澤金三郎
陸軍歩兵一等卒　大澤　榮
陸軍歩兵一等卒　櫛田榮次郎
陸軍歩兵一等卒　關谷由五郎
陸軍歩兵一等卒　田中松次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷　熊藏
陸軍歩兵一等卒　村澤　浦吉
陸軍歩兵一等卒　田村新太郎
陸軍歩兵一等卒　桑原　倉藏
陸軍歩兵一等卒　鈴木久太郎
陸軍歩兵一等卒　和田右一郎
陸軍歩兵一等卒　上原　馬吉
陸軍歩兵一等卒　荻原祐四郎
陸軍歩兵一等卒　井上　貫平
陸軍歩兵一等卒　吉田彌五吉
陸軍歩兵上等兵　中山　政平
陸軍歩兵上等兵　下平　源十
陸軍歩兵上等兵　大島　忠藏
陸軍歩兵上等兵　百瀨　關三
陸軍歩兵上等兵　竹村國四郎
陸軍歩兵上等兵　高橋勇太郎
陸軍歩兵上等兵　林　三郎
陸軍歩兵一等卒　阿久澤松五郎
陸軍歩兵一等卒　廣吉　與作
陸軍歩兵一等卒　山崎　丸山
陸軍歩兵一等卒　小池茂十郎
陸軍歩兵一等卒　吉田吉兵衛
陸軍歩兵一等卒　橘田榮之助
陸軍歩兵一等卒　山地喜代一
陸軍歩兵一等卒　清水治郎作
陸軍歩兵一等卒　清水友吉
陸軍歩兵一等卒　石川豐三郎
陸軍歩兵一等卒　堀内幸重
陸軍歩兵一等卒　山岸勇之助
陸軍歩兵一等卒　木村朱吉
陸軍歩兵一等卒　田村富次郎
陸軍歩兵一等卒　大澤政太郎
陸軍歩兵一等卒　千朋酉松
陸軍歩兵一等卒　石井市藏
陸軍歩兵一等卒　石森勝太
陸軍歩兵一等卒　篠原德司
陸軍歩兵一等卒　三木佳連吉
陸軍歩兵一等卒　高田伴次郎
陸軍歩兵一等卒　小暮鰹一郎
陸軍歩兵一等卒　赤木菊次郎
陸軍歩兵一等卒　金子小藤次
陸軍歩兵一等卒　町田　嘉市
陸軍歩兵一等卒　立岡　直吉
陸軍歩兵一等卒　町田清五郎
陸軍歩兵一等卒　山村寅松
陸軍歩兵一等卒　鈴木　連吉
陸軍歩兵上等兵　小森谷金次郎
陸軍歩兵上等兵　安田龜四郎
陸軍歩兵上等兵　町田　弁三
陸軍歩兵上等兵　卯月　駒吉
陸軍歩兵上等兵　黒澤喜三郎
陸軍歩兵上等兵　大岩德三郎
陸軍看護手勤八等　關　政衛
陸軍看護手勤八等　福澤金三郎
陸軍歩兵一等卒　大澤　榮
陸軍歩兵一等卒　櫛田榮次郎
陸軍歩兵一等卒　關谷由五郎
陸軍歩兵一等卒　田中松次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷　熊藏
陸軍歩兵一等卒　村澤　浦吉
陸軍歩兵一等卒　田村新太郎
陸軍歩兵一等卒　桑原　倉藏
陸軍歩兵一等卒　鈴木久太郎
陸軍歩兵一等卒　和田右一郎
陸軍歩兵上等兵　上原　馬吉
陸軍歩兵一等卒　齋藤勝太郎
陸軍歩兵一等卒　久保田八十次郎
陸軍歩兵一等卒　手塚　專助
陸軍歩兵一等卒　阿部　要吉
陸軍歩兵一等卒　富入　肇之助
陸軍歩兵一等卒　高橋　服吉
陸軍歩兵一等卒　竹内金三郎
陸軍歩兵一等卒　小原　惣吉
陸軍歩兵一等卒　高瀨平吉
陸軍歩兵一等卒　長岡　愛作
陸軍歩兵一等卒　坂爪喜太郎
陸軍歩兵一等卒　須藤仙三郎
陸軍歩兵一等卒　八郎
陸軍歩兵一等卒　山田　圓藏
陸軍歩兵一等卒　中平　圓藏
陸軍歩兵一等卒　小出　金藏
陸軍歩兵一等卒　北澤　孝方
陸軍歩兵一等卒　熊谷　彌市
陸軍歩兵一等卒　市川　駒吉
陸軍歩兵一等卒　笹井藏次郎
陸軍歩兵一等卒　中山甚太郎
陸軍歩兵一等卒　田中　万吉
陸軍歩兵上等兵　林　三郎
陸軍歩兵上等兵　高橋勇太郎
陸軍歩兵上等兵　竹村國四郎
陸軍歩兵上等兵　百瀨　關三
陸軍歩兵上等兵　大島　忠藏
陸軍歩兵上等兵　下平　源十
陸軍歩兵上等兵　中山　政平
陸軍歩兵上等兵　吉田彌五吉
陸軍歩兵上等兵　井上　貫平
陸軍歩兵一等卒　荻原祐四郎
陸軍歩兵一等卒　阿部　要吉
陸軍歩兵一等卒　手塚　專助
陸軍歩兵一等卒　久保田八十次郎
陸軍歩兵一等卒　齋藤勝太郎
陸軍歩兵一等卒　小川廣三郎
陸軍歩兵一等卒　和田左一郎
陸軍歩兵一等卒　田邊　喜平
陸軍歩兵一等卒　小荷田三藏
陸軍歩兵一等卒　戸谷　玉吉
陸軍歩兵一等卒　柳井周三郎
陸軍歩兵一等卒　小林　米八
陸軍歩兵一等卒　平井逸太郎
陸軍歩兵一等卒　飯島　佐吉
陸軍歩兵一等卒　逸野猪太郎
陸軍歩兵一等卒　川島　勇藏
陸軍歩兵一等卒　龍野爲三郎
陸軍歩兵一等卒　池田　榮作
陸軍歩兵一等卒　清水伊勢五郎
陸軍歩兵一等卒　小林　音吉
陸軍歩兵一等卒　丸山　久三
陸軍歩兵一等卒　澤田　仙吉
陸軍歩兵一等卒　石坂和重郎
陸軍歩兵一等卒　須藤福五郎
陸軍歩兵一等卒　丸山　末藏
陸軍歩兵一等卒　市川要太郎
陸軍歩兵一等卒　伊藤　柳吉
陸軍歩兵一等卒　黒澤和三郎
陸軍歩兵一等卒　清水　西藏
陸軍歩兵一等卒　小松　倉吉
陸軍歩兵一等卒　大澤新十郎
陸軍歩兵一等卒　松永　平吉
陸軍歩兵一等卒　總武千四郎
陸軍歩兵一等卒　板橋雜三郎

逐信大臣官房調度課

付録

38/28

陸軍歩兵二等卒　坂本伊八郎
陸軍歩兵二等卒　吉田綱吉
陸軍歩兵二等卒　飯塚治三吉
陸軍歩兵二等卒　宮前嘉七
陸軍歩兵二等卒　碾重郎高重郎
陸軍歩兵二等卒　惣吉勢助作
陸軍歩兵二等卒　木多助作
陸軍歩兵二等卒　小林和惣治
陸軍歩兵二等卒　森田治三郎
陸軍歩兵二等卒　關根酉藏
陸軍歩兵二等卒　久保田久太郎
陸軍歩兵二等卒　塚田與作
陸軍歩兵二等卒　芳原亀藏
陸軍歩兵二等卒　椎名和吉
陸軍歩兵二等卒　阿保高次郎
陸軍歩兵二等卒　金井喜藤治
陸軍歩兵二等卒　唐澤檀三郎
陸軍歩兵二等卒　小林銀次郎
陸軍歩兵二等卒　國田德太郎
陸軍歩兵二等卒　金田吾市
陸軍歩兵二等卒　西澤太郎
陸軍歩兵二等卒　齋藤佐和
陸軍歩兵二等卒　岩館萩治
陸軍歩兵二等卒　富田安治
陸軍歩兵二等卒　加藤幸一
陸軍歩兵二等卒　青沼留吉
陸軍歩兵二等卒　松本角吉
陸軍歩兵二等卒　太田勇次郎
陸軍歩兵二等卒　酒井佐市
陸軍歩兵二等卒　粕川丘代
陸軍歩兵二等卒　深町熊藏
陸軍歩兵二等卒　横堀熊太郎
陸軍歩兵二等卒　島山周作
陸軍歩兵二等卒　羽毛田健之助
陸軍歩兵二等卒　須田源五郎
陸軍歩兵二等卒　加藤由三郎
陸軍歩兵二等卒　須由喜三郎
陸軍歩兵二等卒　市川國五郎
陸軍歩兵二等卒　島方伊勢松
陸軍歩兵二等卒　蓮見九十郎
明治二十七八年從軍記章條例ニ依リ陸軍大臣ノ發給ヲ允シ明治二十八年十月八日勅定ノ從軍記章ヲ授與ス
陸軍歩兵少尉正八位勳七等　東　唯一
（各通）
陸軍歩兵少尉正八位勳八等　加賀利宗二郎

陸軍歩兵一等卒　小松斯與三郎
陸軍歩兵一等卒　吉田綱吉
陸軍歩兵一等卒　飯塚治三吉
陸軍歩兵一等卒　宮前嘉七
陸軍歩兵一等卒　碾重郎高重郎
陸軍歩兵一等卒　惣吉勢助作
陸軍歩兵一等卒　木多助作
陸軍歩兵一等卒　渡邊龜太郎
陸軍歩兵一等卒　吉田角次郎
陸軍歩兵一等卒　佐々木助作
陸軍歩兵一等卒　角田彦市
陸軍歩兵一等卒　小出賢次郎
陸軍歩兵一等卒　寺島七三郎
陸軍歩兵一等卒　市川森太郎
陸軍歩兵一等卒　齋藤國平
陸軍歩兵一等卒　小林久野
陸軍歩兵一等卒　細野重太郎
陸軍歩兵一等卒　小林米治
陸軍歩兵一等卒　館松新太郎
陸軍歩兵一等卒　大島貞藏
陸軍歩兵一等卒　郷澤源藏
陸軍歩兵一等卒　横山吉五郎
陸軍歩兵一等卒　關根酉藏
陸軍歩兵一等卒　森田治三郎
陸軍歩兵一等卒　久保田久太郎
陸軍歩兵一等卒　塚田與作
陸軍歩兵一等卒　芳原亀藏
陸軍歩兵一等卒　椎名和吉
陸軍歩兵一等卒　阿保高次郎
陸軍歩兵一等卒　金井喜藤治
陸軍歩兵一等卒　唐澤檀三郎
陸軍歩兵一等卒　小林銀次郎
陸軍歩兵一等卒　國田德太郎
陸軍歩兵一等卒　金田吾市
陸軍歩兵一等卒　西澤太郎
陸軍歩兵一等卒　齋藤佐和
陸軍歩兵一等卒　岩館萩治
陸軍歩兵一等卒　富田安治
陸軍歩兵一等卒　加藤幸一
陸軍歩兵一等卒　青沼留吉
陸軍歩兵一等卒　松本角吉
陸軍歩兵一等卒　太田勇次郎
陸軍歩兵一等卒　酒井佐市
陸軍歩兵一等卒　粕川丘代
陸軍歩兵一等卒　深町熊藏
陸軍歩兵一等卒　横堀熊太郎
陸軍歩兵一等卒　島山周作
陸軍歩兵一等卒　羽毛田健之助
陸軍歩兵一等卒　須田源五郎
陸軍歩兵一等卒　加藤由三郎
陸軍歩兵一等卒　須由喜三郎
陸軍歩兵一等卒　市川國五郎
陸軍歩兵一等卒　島方伊勢松
陸軍歩兵一等卒　蓮見九十郎
陸軍歩兵一等卒　東　唯一
（各通）
陸軍歩兵少尉正八位勳七等　東　唯一

陸軍歩兵一等卒　宮本民二郎
陸軍歩兵一等卒　武藤常之助
陸軍歩兵一等卒　湯淺德次郎
陸軍歩兵一等卒　加藤由松
陸軍歩兵一等卒　笹本萬藏
陸軍歩兵一等卒　戸部竹藏
陸軍歩兵一等卒　踏岡弘太郎
陸軍歩兵一等卒　星野卯之吉
陸軍歩兵一等卒　小關鐵藏
陸軍歩兵一等卒　立原仙七郎
陸軍歩兵一等卒　吉田直吉
陸軍歩兵一等卒　笹川太三
陸軍歩兵一等卒　市川龜次郎
陸軍歩兵一等卒　長谷川喜太郎
陸軍歩兵一等卒　片岡仁助
陸軍歩兵一等卒　根本萬藏
陸軍歩兵一等卒　木橋留吉
陸軍歩兵一等卒　板倉市松
陸軍歩兵一等卒　諸岡喜太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木喜太郎
陸軍歩兵一等卒　秋葉太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木金藏
陸軍歩兵一等卒　齋藤永助
陸軍歩兵一等卒　藤峽初太郎
陸軍歩兵一等卒　波多野龜松
陸軍歩兵一等卒　丸久藏
陸軍歩兵一等卒　小澤山之助
陸軍歩兵一等卒　牧野保五郎
陸軍歩兵一等卒　島野子之吉
陸軍歩兵一等卒　大橋重次郎
陸軍歩兵一等卒　市川捨吉
陸軍歩兵一等卒　飯島乙藏
陸軍歩兵一等卒　池田三藏
陸軍歩兵一等卒　柴野金太郎
陸軍歩兵一等卒　雨谷太郎
陸軍歩兵一等卒　栗原市太郎
陸軍歩兵一等卒　染野幸太郎
陸軍歩兵一等卒　井原直松
陸軍歩兵一等卒　小川伊三郎
陸軍歩兵一等卒　小田喜勝之助
陸軍歩兵一等卒　亀八戸吉
陸軍歩兵一等卒　石井喜三郎
陸軍歩兵一等卒　伊藤常藏
陸軍歩兵一等卒　長島三藏
陸軍歩兵一等卒　齋藤文藏
陸軍歩兵一等卒　飯田久之助
陸軍歩兵一等卒　外山直吉
陸軍歩兵一等卒　鈴木松助
陸軍歩兵一等卒　神子德三郎
陸軍歩兵一等卒　佐野幸太郎
陸軍歩兵一等卒　金子定吉
陸軍歩兵一等卒　浦邊常松

陸軍歩兵一等卒　淺野慶松
陸軍歩兵一等卒　花澤與六郎
陸軍歩兵一等卒　伊藤三平
陸軍歩兵一等卒　古瀧留次郎
陸軍歩兵一等卒　淺岡仙吉
陸軍歩兵一等卒　中村市三郎
陸軍歩兵一等卒　小川七五郎
陸軍歩兵一等卒　小室庄太郎
陸軍歩兵一等卒　高山正忠
陸軍歩兵一等卒　平山素次郎
陸軍歩兵一等卒　中澤房吉
陸軍歩兵一等卒　石井與助
陸軍歩兵一等卒　增子豐吉
陸軍歩兵一等卒　瑞宗次郎
陸軍歩兵一等卒　大木仙助
陸軍歩兵一等卒　高橋米次郎
陸軍歩兵一等卒　大木仙助
陸軍歩兵一等卒　山縣松五郎
陸軍歩兵一等卒　森田健之助
陸軍歩兵一等卒　内山與一郎
陸軍歩兵一等卒　佐久間由松
陸軍歩兵一等卒　小澤直次
陸軍歩兵一等卒　岡田勝藏
陸軍歩兵一等卒　高橋三藏
陸軍歩兵一等卒　國吉安太郎
陸軍歩兵一等卒　田口西次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木松助
陸軍歩兵一等卒　外山直吉
陸軍歩兵一等卒　佐藤直四郎
陸軍歩兵一等卒　清水定次郎
陸軍歩兵一等卒　小平小太郎
陸軍歩兵一等卒　森仁百作
陸軍歩兵一等卒　中敢千代作
陸軍歩兵一等卒　坂本利八
陸軍歩兵一等卒　澤口吉十
陸軍歩兵一等卒　岩崎龍太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木伴藏
陸軍歩兵一等卒　林伴藏
陸軍歩兵一等卒　丸山徹一郎
陸軍歩兵一等卒　戸井田駒吉
陸軍歩兵一等卒　根岸源次郎
陸軍歩兵一等卒　清水波次郎
陸軍歩兵一等卒　南雲作太郎
陸軍歩兵一等卒　山本才二郎
陸軍歩兵一等卒　丸山徹一郎
陸軍歩兵一等卒　戸井田駒吉
陸軍歩兵一等卒　根岸源太郎
陸軍歩兵一等卒　田中嘉太郎
陸軍歩兵一等卒　本藤高司
陸軍歩兵一等卒　笠原福六
陸軍歩兵一等卒　橋彦三郎
陸軍歩兵一等卒　小池島之助
陸軍歩兵一等卒　小宮山楠夫
陸軍歩兵一等卒　荻原喜作
陸軍歩兵一等卒　國定惣三郎
陸軍歩兵一等卒　持田茂十郎
陸軍歩兵一等卒　池田春吉
陸軍歩兵一等卒　丸山富士彌
陸軍歩兵一等卒　新井金一
陸軍歩兵一等卒　宮澤重太郎
陸軍歩兵一等卒　宮澤龜太郎
陸軍歩兵一等卒　吉澤松太郎
陸軍歩兵一等卒　大島貞藏
陸軍歩兵一等卒　郷澤源藏
陸軍歩兵一等卒　横山吉五郎

陸軍歩兵一等卒　金木宮次郎
陸軍歩兵一等卒　小野清吉
陸軍歩兵一等卒　内田豐次郎
陸軍歩兵一等卒　作田三太郎
陸軍歩兵一等卒　小原和藏
陸軍歩兵一等卒　足田源藏
陸軍歩兵一等卒　庭田源一郎
陸軍歩兵一等卒　宮川忍應
陸軍歩兵一等卒　小嶋與三郎
陸軍歩兵一等卒　布施昌
陸軍歩兵一等卒　富吉西之助
陸軍歩兵一等卒　藤平酉藏
陸軍歩兵一等卒　白土酉次郎
陸軍歩兵一等卒　川尻兵松
陸軍歩兵一等卒　三浦熊吉
陸軍歩兵一等卒　川島作之助
陸軍歩兵一等卒　深山安三
陸軍歩兵一等卒　飯塚彌太郎
陸軍歩兵一等卒　栗木竹太郎
陸軍歩兵一等卒　林勇次郎

陸軍歩兵一等卒　江波戸葵之助
陸軍歩兵一等卒　高橋芳松
陸軍歩兵一等卒　福田長吉
陸軍歩兵一等卒　川崎仙之助
陸軍歩兵一等卒　鈴木酉之助
陸軍歩兵一等卒　市毛留吉
陸軍歩兵一等卒　折井清藏
陸軍歩兵一等卒　黒田孝太郎
陸軍歩兵一等卒　國吉辨藏
陸軍歩兵一等卒　山崎由之助
陸軍歩兵一等卒　中村源之助
陸軍歩兵一等卒　神田鐵太郎
陸軍歩兵一等卒　足田瀧藏
陸軍歩兵一等卒　中村初次郎
陸軍歩兵一等卒　仁平作次
陸軍歩兵一等卒　佐藤清太郎
陸軍歩兵一等卒　羽生武揚
陸軍歩兵一等卒　廣澤常八
陸軍歩兵一等卒　藤森佐平次
陸軍歩兵一等卒　増古宇之助
陸軍歩兵一等卒　小池代藏
陸軍歩兵一等卒　小山庄作
陸軍歩兵一等卒　羽成留三郎
陸軍歩兵一等卒　赤澤喜太郎
陸軍歩兵一等卒　丸山金市
陸軍歩兵一等卒　小倉兵吉
陸軍歩兵一等卒　小林陵次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木機外
陸軍歩兵一等卒　山岸金兵衛
陸軍歩兵一等卒　中島彝太郎
陸軍歩兵一等卒　望月右馬藏
陸軍歩兵一等卒　林儀市
陸軍歩兵一等卒　古澤歌治
陸軍歩兵一等卒　關野玄照
陸軍歩兵一等卒　金井宇吉
陸軍歩兵一等卒　柴野龜之助
陸軍歩兵一等卒　茂木利惣次
陸軍歩兵一等卒　丸山辰雄
陸軍歩兵一等卒　大塚久四郎
陸軍歩兵一等卒　寺田信次郎
陸軍歩兵一等卒　原部吉藏
陸軍歩兵一等卒　長眞之助
陸軍歩兵一等卒　天野鈴吉
陸軍歩兵一等卒　矢澤軍次郎
陸軍歩兵一等卒　細野庄作
陸軍歩兵一等卒　木村萬助
陸軍歩兵一等卒　龜田節治
陸軍歩兵一等卒　小淵熊次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷政五郎
陸軍歩兵一等卒　高山太吉
陸軍歩兵一等卒　戸丸庵次郎
陸軍歩兵一等卒　丸山伊之藏
陸軍歩兵一等卒　川口源松
陸軍工兵一等曹長　高木鉊吉
陸軍豐橋工兵一等軍曹勳八等　大河原庚吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　石井八十吉

陸軍歩兵一等卒　北澤庄太郎
陸軍歩兵一等卒　上野新作
陸軍歩兵一等卒　石井末吉
陸軍歩兵一等卒　中村初次郎
陸軍歩兵一等卒　仁平作次
陸軍歩兵一等卒　佐藤清太郎
陸軍歩兵一等卒　羽生武揚
陸軍歩兵一等卒　廣澤常八
陸軍歩兵一等卒　藤森佐平次
陸軍歩兵一等卒　増古宇之助
陸軍歩兵一等卒　小池代藏
陸軍歩兵一等卒　小山庄作
陸軍歩兵一等卒　羽成留三郎
陸軍砲兵二等卒　和久井竹松
陸軍歩兵一等卒　黒澤清之介
陸軍歩兵一等卒　小林陵次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木機外
陸軍歩兵一等卒　山岸金兵衛
陸軍歩兵一等卒　中島彝太郎
陸軍歩兵一等卒　望月右馬藏
陸軍歩兵一等卒　林儀市
陸軍歩兵一等卒　古澤歌治
陸軍歩兵一等卒　關野玄照
陸軍歩兵一等卒　金井宇吉
陸軍歩兵一等卒　柴野龜之助
陸軍歩兵一等卒　茂木利惣次
陸軍歩兵一等卒　丸山辰雄
陸軍歩兵一等卒　大塚久四郎
陸軍歩兵一等卒　寺田信次郎
陸軍歩兵一等卒　原部吉藏
陸軍歩兵一等卒　長眞之助
陸軍歩兵一等卒　天野鈴吉
陸軍歩兵一等卒　矢澤軍次郎
陸軍歩兵一等卒　細野庄作
陸軍歩兵一等卒　木村萬助
陸軍歩兵一等卒　龜田節治
陸軍歩兵一等卒　小淵熊次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷政五郎
陸軍歩兵一等卒　高山太吉
陸軍歩兵一等卒　戸丸庵次郎
陸軍歩兵一等卒　丸山伊之藏
陸軍歩兵一等卒　川口源松
陸軍工兵一等曹長　高木鉊吉
陸軍豐橋工兵一等軍曹勳八等　大河原庚吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　石井八十吉

陸軍歩兵一等卒　丹谷初太郎
陸軍歩兵一等卒　三枝武次郎
陸軍歩兵一等卒　榎本德次郎
陸軍歩兵一等卒　並木酉松
陸軍歩兵一等卒　三須孝治郎
陸軍歩兵一等卒　神崎丈助
陸軍看護手勳八等　海老原與吉
陸軍歩兵一等卒　綿谷定吉
陸軍歩兵一等卒　大石鎌多
陸軍歩兵一等卒　平戸佐太郎
陸軍歩兵一等卒　小川友吉
陸軍歩兵一等卒　山田新太郎
陸軍歩兵一等卒　綱代熊次郎
陸軍歩兵一等卒　川村竹次郎
陸軍歩兵一等卒　足立酉一
陸軍歩兵一等卒　石毛峰藏
陸軍歩兵一等卒　岩上千松
陸軍歩兵一等卒　石橋庫吉
陸軍歩兵一等卒　廣擬鐵五郎
陸軍歩兵一等卒　石川燮助
陸軍歩兵一等卒　平戸佐太郎
陸軍歩兵一等卒　大石鎌多
陸軍歩兵一等卒　綿谷定吉
陸軍歩兵一等卒　並木酉松
陸軍歩兵一等卒　榎本德次郎
陸軍歩兵一等卒　三枝武次郎
陸軍歩兵一等卒　丹谷初太郎
陸軍歩兵一等卒　後藤菊次郎
陸軍歩兵一等卒　友野喜久治
陸軍歩兵一等卒　切替伊太郎
陸軍歩兵一等卒　増田安藏
陸軍歩兵一等卒　粕川丘代
陸軍歩兵一等卒　深町熊藏
陸軍歩兵一等卒　横堀熊太郎
陸軍歩兵一等卒　島山周作
陸軍歩兵一等卒　羽毛田健之助
陸軍歩兵一等卒　須田源五郎
陸軍歩兵一等卒　加藤由三郎
陸軍歩兵一等卒　須由喜三郎
陸軍歩兵一等卒　市川國五郎
陸軍歩兵一等卒　島方伊勢松
陸軍歩兵一等卒　蓮見九十郎
陸軍歩兵一等卒　東　唯一
（各通）
陸軍歩兵少尉正八位勳七等　東　唯一

陸軍三等軍醫正八位勳六等　大川保
前同文
（各通）
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　武部德次郎
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　金井文作
前同文

陸軍歩兵大尉正七位勳五等　高桑思基
陸軍歩兵中尉從七位勳六等　飯田彬
陸軍歩兵中尉從七位勳六等　赤澤光雄
陸軍歩兵中尉正八位勳六等　小木谷好之助
陸軍歩兵中尉從七位勳六等　川久保才二
從七位勳六等　倉田重謙
從七位勳六等　知久榮之助
從七位勳六等　西野常松
陸軍歩兵特務曹長勳八等　吉澤豐吉
陸軍歩兵特務曹長勳八等　伊藤貴一
陸軍歩兵曹長勳八等　豐田善作
陸軍歩兵曹長勳八等　西勇藏
陸軍歩兵曹長勳八等　推名千代藏
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　河野廣俊
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　隱岐健一
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　庭田源一郎
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　宮川忍應
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　小嶋與三郎
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　布施昌
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　富吉西之助
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　藤平酉藏
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　白土酉次郎
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　川尻兵松
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　三浦熊吉
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　川島作之助
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　深山安三
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　飯塚彌太郎
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　栗木竹太郎
陸軍歩兵上等軍曹勳八等　林勇次郎

陸軍歩兵上等兵勳八等　川島作之助
陸軍歩兵上等兵勳八等　三浦熊吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　川尻兵松
陸軍歩兵上等兵勳八等　白土酉次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　藤平酉藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　富吉西之助
陸軍歩兵上等兵勳八等　鹽田筠
陸軍歩兵上等兵勳八等　岩崎龍太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　布施昌
陸軍歩兵上等兵勳八等　丸山富士彌
陸軍歩兵上等兵勳八等　小嶋與三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　宮川忍應
陸軍歩兵上等兵勳八等　庭田源一郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　足田源藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　小原和藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　作田三太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　池田春吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　持田茂十郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　國定惣三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　荻原喜作
陸軍歩兵上等兵勳八等　小宮山楠夫
陸軍歩兵上等兵勳八等　小池島之助
陸軍歩兵上等兵勳八等　橋彦三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　笠原福六
陸軍歩兵上等兵勳八等　本藤高司
陸軍歩兵上等兵勳八等　田中嘉太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　根岸源太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　戸井田駒吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　丸山徹一郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　宮澤龜太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　宮澤重太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　新井金一
陸軍歩兵上等兵勳八等　鹽入龜三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　横山吉五郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　郷澤源藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　大島貞藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　館松新太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　小林米治
陸軍歩兵上等兵勳八等　細野重太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　小林久野
陸軍歩兵上等兵勳八等　齋藤國平
陸軍歩兵上等兵勳八等　市川森太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　寺島七三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　小出賢次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　角田彦市
陸軍歩兵上等兵勳八等　吉田角次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　渡邊龜太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　小橋森太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　櫻田高重郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　惣吉勢助作
陸軍歩兵上等兵勳八等　木多助作
陸軍歩兵上等兵勳八等　小林和惣治
陸軍歩兵上等兵勳八等　森田治三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　關根酉藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　久保田久太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　塚田與作
陸軍歩兵上等兵勳八等　芳原亀藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　椎名和吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　阿保高次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　金井喜藤治
陸軍歩兵上等兵勳八等　唐澤檀三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　小林銀次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　國田德太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　金田吾市
陸軍歩兵上等兵勳八等　西澤太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　齋藤佐和
陸軍歩兵上等兵勳八等　岩館萩治
陸軍歩兵上等兵勳八等　富田安治
陸軍歩兵上等兵勳八等　加藤幸一
陸軍歩兵上等兵勳八等　青沼留吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　松本角吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　太田勇次郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　酒井佐市
陸軍歩兵上等兵勳八等　粕川丘代
陸軍歩兵上等兵勳八等　深町熊藏
陸軍歩兵上等兵勳八等　横堀熊太郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　島山周作
陸軍歩兵上等兵勳八等　羽毛田健之助
陸軍歩兵上等兵勳八等　須田源五郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　加藤由三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　須由喜三郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　市川國五郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　島方伊勢松
陸軍歩兵上等兵勳八等　蓮見九十郎
陸軍歩兵上等兵勳八等　東　唯一
（各通）
陸軍歩兵少尉正八位勳七等　東　唯一

陸軍歩兵一等卒　宮本民二郎
陸軍歩兵一等卒　武藤常之助
陸軍歩兵一等卒　湯淺德次郎
陸軍歩兵一等卒　加藤由松
陸軍歩兵一等卒　笹本萬藏
陸軍歩兵一等卒　戸部竹藏
陸軍歩兵一等卒　踏岡弘太郎
陸軍歩兵一等卒　星野卯之吉
陸軍歩兵一等卒　小關鐵藏
陸軍歩兵一等卒　立原仙七郎
陸軍歩兵一等卒　吉田直吉
陸軍歩兵一等卒　笹川太三
陸軍歩兵一等卒　市川龜次郎
陸軍歩兵一等卒　長谷川喜太郎
陸軍歩兵一等卒　片岡仁助
陸軍歩兵一等卒　根本萬藏
陸軍歩兵一等卒　木橋留吉
陸軍歩兵一等卒　板倉市松
陸軍歩兵一等卒　諸岡喜太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木喜太郎
陸軍歩兵一等卒　秋葉太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木金藏
陸軍歩兵一等卒　齋藤永助
陸軍歩兵一等卒　藤峽初太郎
陸軍歩兵一等卒　波多野龜松
陸軍歩兵一等卒　丸久藏
陸軍歩兵一等卒　小澤山之助
陸軍歩兵一等卒　牧野保五郎
陸軍歩兵一等卒　島野子之吉
陸軍歩兵一等卒　大橋重次郎
陸軍歩兵一等卒　市川捨吉
陸軍歩兵一等卒　飯島乙藏
陸軍歩兵一等卒　池田三藏
陸軍歩兵一等卒　柴野金太郎
陸軍歩兵一等卒　雨谷太郎
陸軍歩兵一等卒　栗原市太郎
陸軍歩兵一等卒　染野幸太郎
陸軍歩兵一等卒　井原直松
陸軍歩兵一等卒　小川伊三郎
陸軍歩兵一等卒　小田喜勝之助
陸軍歩兵一等卒　亀八戸吉
陸軍歩兵一等卒　石井喜三郎
陸軍歩兵一等卒　伊藤常藏
陸軍歩兵一等卒　長島三藏
陸軍歩兵一等卒　齋藤文藏
陸軍歩兵一等卒　飯田久之助
陸軍歩兵一等卒　外山直吉
陸軍歩兵一等卒　鈴木松助
陸軍歩兵一等卒　神子德三郎
陸軍歩兵一等卒　佐野幸太郎
陸軍歩兵一等卒　金子定吉
陸軍歩兵一等卒　浦邊常松

陸軍歩兵一等卒　淺野慶松
陸軍歩兵一等卒　花澤與六郎
陸軍歩兵一等卒　伊藤三平
陸軍歩兵一等卒　古瀧留次郎
陸軍歩兵一等卒　淺岡仙吉
陸軍歩兵一等卒　中村市三郎
陸軍歩兵一等卒　小川七五郎
陸軍歩兵一等卒　小室庄太郎
陸軍歩兵一等卒　高山正忠
陸軍歩兵一等卒　平山素次郎
陸軍歩兵一等卒　中澤房吉
陸軍歩兵一等卒　石井與助
陸軍歩兵一等卒　增子豐吉
陸軍歩兵一等卒　瑞宗次郎
陸軍歩兵一等卒　大木仙助
陸軍歩兵一等卒　高橋米次郎
陸軍歩兵一等卒　大木仙助
陸軍歩兵一等卒　山縣松五郎
陸軍歩兵一等卒　森田健之助
陸軍歩兵一等卒　内山與一郎
陸軍歩兵一等卒　佐久間由松
陸軍歩兵一等卒　小澤直次
陸軍歩兵一等卒　岡田勝藏
陸軍歩兵一等卒　高橋三藏
陸軍歩兵一等卒　國吉安太郎
陸軍歩兵一等卒　田口西次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木松助
陸軍歩兵一等卒　外山直吉
陸軍歩兵一等卒　佐藤直四郎
陸軍歩兵一等卒　清水定次郎
陸軍歩兵一等卒　小平小太郎
陸軍歩兵一等卒　森仁百作
陸軍歩兵一等卒　中敢千代作
陸軍歩兵一等卒　坂本利八
陸軍歩兵一等卒　澤口吉十
陸軍歩兵一等卒　岩崎龍太郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木伴藏
陸軍歩兵一等卒　林伴藏
陸軍歩兵一等卒　丸山徹一郎
陸軍歩兵一等卒　戸井田駒吉
陸軍歩兵一等卒　根岸源次郎
陸軍歩兵一等卒　清水波次郎
陸軍歩兵一等卒　南雲作太郎
陸軍歩兵一等卒　山本才二郎
陸軍歩兵一等卒　丸山徹一郎
陸軍歩兵一等卒　戸井田駒吉
陸軍歩兵一等卒　根岸源太郎
陸軍歩兵一等卒　田中嘉太郎
陸軍歩兵一等卒　本藤高司
陸軍歩兵一等卒　笠原福六
陸軍歩兵一等卒　橋彦三郎
陸軍歩兵一等卒　小池島之助
陸軍歩兵一等卒　小宮山楠夫
陸軍歩兵一等卒　荻原喜作
陸軍歩兵一等卒　國定惣三郎
陸軍歩兵一等卒　持田茂十郎
陸軍歩兵一等卒　池田春吉
陸軍歩兵一等卒　丸山富士彌
陸軍歩兵一等卒　新井金一
陸軍歩兵一等卒　宮澤重太郎
陸軍歩兵一等卒　宮澤龜太郎
陸軍歩兵一等卒　吉澤松太郎
陸軍歩兵一等卒　大島貞藏
陸軍歩兵一等卒　郷澤源藏
陸軍歩兵一等卒　横山吉五郎

陸軍歩兵一等卒　金木宮次郎
陸軍歩兵一等卒　小野清吉
陸軍歩兵一等卒　内田豐次郎
陸軍歩兵一等卒　作田三太郎
陸軍歩兵一等卒　小原和藏
陸軍歩兵一等卒　足田源藏
陸軍歩兵一等卒　庭田源一郎
陸軍歩兵一等卒　宮川忍應
陸軍歩兵一等卒　小嶋與三郎
陸軍歩兵一等卒　布施昌
陸軍歩兵一等卒　富吉西之助
陸軍歩兵一等卒　藤平酉藏
陸軍歩兵一等卒　白土酉次郎
陸軍歩兵一等卒　川尻兵松
陸軍歩兵一等卒　三浦熊吉
陸軍歩兵一等卒　川島作之助
陸軍歩兵一等卒　深山安三
陸軍歩兵一等卒　飯塚彌太郎
陸軍歩兵一等卒　栗木竹太郎
陸軍歩兵一等卒　林勇次郎

陸軍歩兵一等卒　江波戸葵之助
陸軍歩兵一等卒　高橋芳松
陸軍歩兵一等卒　福田長吉
陸軍歩兵一等卒　川崎仙之助
陸軍歩兵一等卒　鈴木酉之助
陸軍歩兵一等卒　市毛留吉
陸軍歩兵一等卒　折井清藏
陸軍歩兵一等卒　黒田孝太郎
陸軍歩兵一等卒　國吉辨藏
陸軍歩兵一等卒　山崎由之助
陸軍歩兵一等卒　中村源之助
陸軍歩兵一等卒　神田鐵太郎
陸軍歩兵一等卒　足田瀧藏
陸軍歩兵一等卒　中村初次郎
陸軍歩兵一等卒　仁平作次
陸軍歩兵一等卒　佐藤清太郎
陸軍歩兵一等卒　羽生武揚
陸軍歩兵一等卒　廣澤常八
陸軍歩兵一等卒　藤森佐平次
陸軍歩兵一等卒　増古宇之助
陸軍歩兵一等卒　小池代藏
陸軍歩兵一等卒　小山庄作
陸軍歩兵一等卒　羽成留三郎
陸軍砲兵二等卒　和久井竹松
陸軍歩兵一等卒　黒澤清之介
陸軍歩兵一等卒　小林陵次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木機外
陸軍歩兵一等卒　山岸金兵衛
陸軍歩兵一等卒　中島彝太郎
陸軍歩兵一等卒　望月右馬藏
陸軍歩兵一等卒　林儀市
陸軍歩兵一等卒　古澤歌治
陸軍歩兵一等卒　關野玄照
陸軍歩兵一等卒　金井宇吉
陸軍歩兵一等卒　柴野龜之助
陸軍歩兵一等卒　茂木利惣次
陸軍歩兵一等卒　丸山辰雄
陸軍歩兵一等卒　大塚久四郎
陸軍歩兵一等卒　寺田信次郎
陸軍歩兵一等卒　原部吉藏
陸軍歩兵一等卒　長眞之助
陸軍歩兵一等卒　天野鈴吉
陸軍歩兵一等卒　矢澤軍次郎
陸軍歩兵一等卒　細野庄作
陸軍歩兵一等卒　木村萬助
陸軍歩兵一等卒　龜田節治
陸軍歩兵一等卒　小淵熊次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷政五郎
陸軍歩兵一等卒　高山太吉
陸軍歩兵一等卒　戸丸庵次郎
陸軍歩兵一等卒　丸山伊之藏
陸軍歩兵一等卒　川口源松
陸軍工兵一等曹長　高木鉊吉
陸軍豐橋工兵一等軍曹勳八等　大河原庚吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　石井八十吉

陸軍歩兵一等卒　北澤庄太郎
陸軍歩兵一等卒　上野新作
陸軍歩兵一等卒　石井末吉
陸軍歩兵一等卒　中村初次郎
陸軍歩兵一等卒　仁平作次
陸軍歩兵一等卒　佐藤清太郎
陸軍歩兵一等卒　羽生武揚
陸軍歩兵一等卒　廣澤常八
陸軍歩兵一等卒　藤森佐平次
陸軍歩兵一等卒　増古宇之助
陸軍歩兵一等卒　小池代藏
陸軍歩兵一等卒　小山庄作
陸軍歩兵一等卒　羽成留三郎
陸軍砲兵二等卒　和久井竹松
陸軍歩兵一等卒　黒澤清之介
陸軍歩兵一等卒　小林陵次郎
陸軍歩兵一等卒　鈴木機外
陸軍歩兵一等卒　山岸金兵衛
陸軍歩兵一等卒　中島彝太郎
陸軍歩兵一等卒　望月右馬藏
陸軍歩兵一等卒　林儀市
陸軍歩兵一等卒　古澤歌治
陸軍歩兵一等卒　關野玄照
陸軍歩兵一等卒　金井宇吉
陸軍歩兵一等卒　柴野龜之助
陸軍歩兵一等卒　茂木利惣次
陸軍歩兵一等卒　丸山辰雄
陸軍歩兵一等卒　大塚久四郎
陸軍歩兵一等卒　寺田信次郎
陸軍歩兵一等卒　原部吉藏
陸軍歩兵一等卒　長眞之助
陸軍歩兵一等卒　天野鈴吉
陸軍歩兵一等卒　矢澤軍次郎
陸軍歩兵一等卒　細野庄作
陸軍歩兵一等卒　木村萬助
陸軍歩兵一等卒　龜田節治
陸軍歩兵一等卒　小淵熊次郎
陸軍歩兵一等卒　染谷政五郎
陸軍歩兵一等卒　高山太吉
陸軍歩兵一等卒　戸丸庵次郎
陸軍歩兵一等卒　丸山伊之藏
陸軍歩兵一等卒　川口源松
陸軍工兵一等曹長　高木鉊吉
陸軍豐橋工兵一等軍曹勳八等　大河原庚吉
陸軍歩兵上等兵勳八等　石井八十吉

陸軍三等軍醫正八位勳六等　大川保
前同文
（各通）
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　武部德次郎
陸軍歩兵一等軍曹勳八等　金井文作
前同文

陸軍歩兵大尉正七位勳五等　高桑思基
陸軍歩兵中

陸軍工兵上等兵　村上幾夫郎
陸軍工兵一等卒　安吉
陸軍砲兵一等卒　白察
陸軍砲兵一等卒　植草爲吉
陸軍砲兵一等卒　安野五十五
陸軍砲兵一等卒　遠藤孫市
陸軍砲兵一等卒　鳴島佐吉
陸軍砲兵一等卒　松永彌市
陸軍砲兵一等卒　岡野半四郎
陸軍砲兵一等卒　大澤貢次郎
陸軍砲兵一等卒　武井善次郎
陸軍砲兵一等卒　八木八十吉
陸軍砲兵一等卒　武田作次郎
陸軍砲兵一等卒　早川桂藏
陸軍砲兵一等卒　加瀨樂藏
陸軍砲兵二等卒　福西正作
陸軍砲兵二等卒　蛭田磯吉
陸軍砲兵二等卒　根岸仲太郎
陸軍砲兵二等卒　内藤留吉
陸軍砲兵二等卒　村山留次郎
陸軍砲兵二等卒看護長　高野幸作
陸軍二等看護長　中村豐平

（各通）

陸軍工兵上等兵　鈴木惣八
陸軍工兵上等兵　比企文一郎
陸軍工兵一等卒　山崎清太郎
陸軍工兵一等卒　大塚訓三
陸軍工兵一等卒　土子梁太郎
陸軍工兵一等卒　鈴木長三郎
陸軍工兵一等卒　吉澤才次郎
陸軍工兵一等卒　吉井喜太郎
陸軍工兵一等卒　勝田由太郎
陸軍工兵一等卒　古瀨德右衛門
陸軍工兵一等卒　瀧川長松
陸軍工兵一等卒　中山寅次郎
陸軍工兵一等卒　國田光太郎
陸軍工兵一等卒　尾崎儀平
陸軍工兵一等卒　山口猿治
陸軍工兵一等卒　田中金太郎
陸軍工兵一等卒　齋藤八三郎
陸軍工兵一等卒　假塚庄次郎
陸軍工兵一等卒　朝生三之助
陸軍工兵一等卒　平川七三郎
陸軍工兵一等卒　大野清五郎
陸軍工兵一等卒　羽倉高吉
陸軍工兵一等卒　田島愛次郎
陸軍工兵一等卒　神山關次郎
陸軍工兵二等卒　橋本庄太郎
陸軍工兵二等卒　土田嘉一郎
陸軍工兵二等卒　佐藤與三郎
陸軍工兵二等卒　小倉又吉
陸軍工兵二等卒　長坂爲吉
陸軍工兵二等卒　小澤長五郎
陸軍工兵二等卒　齊藤長吉
陸軍工兵二等卒　柳田金藏
陸軍工兵二等卒　佐々木宗吾
陸軍工兵二等卒　町田林藏
陸軍工兵二等卒　落合由五郎
陸軍工兵二等卒　石田寅吉
陸軍工兵二等卒　犠三造
陸軍工兵二等卒　杼淵利七

前同文

陸軍砲兵一等軍曹　福地重德
陸軍砲兵一等軍曹　山口主一
陸軍火工一等軍曹　清水幾次郎
陸軍砲兵二等軍曹　千葉甚平
陸軍砲兵上等兵　吉井熙三
陸軍砲兵一等卒　八生國太郎
陸軍砲兵一等卒　田邊芳太郎

陸軍一等軍醫　山口甲子次郎
正七位勳六等　羽田益吉
陸軍一等藥劑官正七位

（各通）

陸軍歩兵大尉　野長瀨幹
正七位勳六等　堤董
陸軍歩兵大尉　中村義堯
正七位勳六等
陸軍歩兵大尉　佐久間浩
正七位勳六等
陸軍一等軍醫從七位　淺川釜次郎
陸軍歩兵特務曹長　竹内辰藏
陸軍歩兵特務曹長　西村秀三郎
陸軍歩兵曹長　島山友三郎
陸軍歩兵曹長　吉野市之助
陸軍歩兵曹長　荻原傳藏
陸軍歩兵曹長　成瀨謝三郎
陸軍歩兵一等軍曹　橋本福彌
陸軍歩兵一等軍曹　松本岩藏
陸軍騎兵一等軍曹　伊地知季盛
陸軍歩兵上等兵　北村正之助
陸軍工兵上等兵　角田與一郎
陸軍歩兵上等兵　邊春政人

前同文

陸軍砲兵特務曹長　野長瀨幹

陸軍三等軍吏正八位　檜山金彦
陸軍三等軍吏正八位　橋本勝造
陸軍三等軍吏正八位　青地留三郎
陸軍三等軍吏　鈴木靖
陸軍三等軍吏勳八等　平野辰三郎

前同文

陸軍一等軍醫　山口甲子次郎
正七位勳六等
陸軍一等藥劑官正七位　羽田益吉

前同文

陸軍三等軍吏從七位　葉若競
陸軍二等軍吏正八位勳六等　檜山金彦
陸軍三等軍吏正八位　橋本勝造
陸軍三等軍吏正八位　青地留三郎
陸軍三等軍吏　鈴木靖
陸軍三等軍吏勳八等　平野辰三郎

前同文

陸軍歩兵大尉正七位　佐久間浩
陸軍一等軍醫從七位　淺川釜次郎
陸軍歩兵特務曹長　竹内辰藏
陸軍歩兵曹長　西村秀三郎
陸軍歩兵曹長　島山友三郎
陸軍歩兵曹長　吉野市之助
陸軍歩兵曹長　荻原傳藏
陸軍歩兵一等軍曹　成瀨謝三郎
陸軍歩兵一等軍曹　橋本福彌
陸軍騎兵一等軍曹　松本岩藏
陸軍歩兵上等兵　伊地知季盛
陸軍工兵上等兵　北村正之助
陸軍歩兵上等兵　角田與一郎
陸軍歩兵上等兵　邊春政人

（各通）

陸軍歩兵大尉　野長瀨幹
正七位勳六等　堤董
陸軍歩兵大尉　中村義堯
正七位勳六等
陸軍歩兵大尉　佐久間浩
正七位勳六等
陸軍一等軍醫從七位　淺川釜次郎
陸軍歩兵特務曹長　竹内辰藏
陸軍歩兵曹長　西村秀三郎
陸軍歩兵曹長　島山友三郎
陸軍歩兵曹長　吉野市之助
陸軍歩兵曹長　荻原傳藏
陸軍歩兵一等軍曹　成瀨謝三郎
陸軍歩兵一等軍曹　橋本福彌
陸軍騎兵一等軍曹　松本岩藏
陸軍歩兵上等兵　伊地知季盛
陸軍工兵上等兵　北村正之助
陸軍歩兵上等兵　角田與一郎
陸軍歩兵上等兵　邊春政人

（各通）

陸軍歩兵上等兵　村上幾夫郎
陸軍工兵上等兵　鈴木惣八
陸軍工兵上等兵　比企文一郎
陸軍工兵一等卒　山崎清太郎
陸軍砲兵一等卒　大塚訓三
陸軍砲兵一等卒　土子梁太郎
陸軍工兵一等卒　鈴木長三郎
陸軍工兵一等卒　吉澤才次郎
陸軍工兵一等卒　吉井喜太郎
陸軍工兵一等卒　勝田由太郎
陸軍工兵一等卒　古瀨德右衛門
陸軍工兵一等卒　瀧川長松
陸軍工兵一等卒　中山寅次郎
陸軍工兵一等卒　國田光太郎
陸軍工兵一等卒　尾崎儀平
陸軍工兵一等卒　山口猿治
陸軍工兵一等卒　田中金太郎
陸軍工兵一等卒　齋藤八三郎
陸軍工兵一等卒　假塚庄次郎
陸軍工兵一等卒　朝生三之助
陸軍工兵一等卒　平川七三郎
陸軍工兵一等卒　大野清五郎
陸軍工兵一等卒　羽倉高吉
陸軍工兵一等卒　田島愛次郎
陸軍工兵一等卒　神山關次郎
陸軍工兵二等卒　橋本庄太郎
陸軍工兵二等卒　土田嘉一郎
陸軍工兵二等卒　佐藤與三郎
陸軍工兵二等卒　小倉又吉
陸軍工兵二等卒　長坂爲吉
陸軍工兵二等卒　小澤長五郎
陸軍工兵二等卒　齊藤長吉
陸軍工兵二等卒　柳田金藏
陸軍工兵二等卒　佐々木宗吾
陸軍工兵二等卒　町田林藏
陸軍工兵二等卒　落合由五郎
陸軍工兵二等卒　石田寅吉
陸軍工兵二等卒　犠三造
陸軍工兵二等卒　杼淵利七

前同文

陸軍砲兵一等軍曹　福地重德
陸軍砲兵一等軍曹　山口主一
陸軍火工一等軍曹　清水幾次郎
陸軍砲兵二等軍曹　千葉甚平
陸軍砲兵上等兵　吉井熙三
陸軍砲兵一等卒　八生國太郎
陸軍砲兵一等卒　田邊芳太郎

陸軍歩兵上等兵　百々大吉
陸軍歩兵上等兵　村上卯太郎
陸軍歩兵一等卒　雛波安次郎
陸軍工兵一等卒　菅谷初次郎
陸軍砲兵二等卒看護手　岩瀨國藏
陸軍砲兵二等卒　小高傳次郎
陸軍看護手　田中佐一郎

海軍大將從二位勳一等功二級侯爵　西鄕從道
海軍中將正四位勳一等功二級子爵　伊東祐亨
海軍大佐從五位勳四等功四級　河原要一
海軍大佐從五位勳四等功四級　伊集院五郎
海軍大佐正六位勳六等功四級　三須宗太郎
海軍少佐從六位勳五等功四級　新納時亮
海軍少佐正六位勳五等功四級　安原金次
海軍少佐從六位勳五等功四級　島村速雄
海軍少佐從四位勳六等功四級　吉井幸藏
海軍少佐從四位勳六等功五級　齋藤孝至
海軍少佐從五位　松本和
海軍大財正七位勳六等功四級　丹羽敎思
海軍大財正七位勳六等功五級　木村浩吉
海軍大財正七位勳六等功五級　廣瀨勝比古
海軍大財正七位勳六等功五級　村上格一
海軍大財正　川島令次郎
七位勳六等
海軍大財正七位勳六等功五級　小田喜代藏
海軍大財正七位勳六等功五級　山縣文藏
海軍大財正七位勳六等功五級　黑井悌次郎
海軍大財正七位勳六等功五級　牛田從三郎
海軍大財正七位勳六等功五級　福井正義
海軍大財從七位勳六等功五級　山田稱之助
海軍大財從七位勳六等功五級　高島萬太郎
海軍大財從七位勳六等功五級　大石士郎
海軍一等兵曹勳八等　田所馬之助
海軍一等兵曹勳八等　國本政吉
海軍二等兵曹　堀野友五郎
海軍三等兵曹　松本傳七

（各通）

海軍一等水兵　河島房吉
海軍一等水兵　坂井多平
海軍三等水兵　早田安一
海軍三等水兵　西澤榮右衛門
主理正七位　清水市太郎
海軍編修書記　吉田直温
海軍編修書記　寺島成信
海軍屬　淺井音吉
海軍書記　錦織之進
海軍編修書記　太田敬孝
海軍屬　島野鉾郎
海軍書記　中島政一
海軍書記　畔柳政恒
海軍技手　葛野伴二
海軍屬　明石昇太郎
海軍書記勳八等　上松正太郎
海軍書記　田村銀太郎
海軍書記　田邊左門
海軍編修書記　小笠原貞太郎
海軍書記　宗方小太郎
海軍書記　關口精一
明治二十七八年從軍記章條例ニ依リ海軍大臣ノ認可ヲ經テ允シタル記章ヲ授與ス　高野幸作
陸軍二等看護長　中村豐平

海軍大佐正五位勳三等功四級　三浦功
海軍主計大監從五位勳五等功四級　村上敬次郎
海軍大佐正五位勳四等　野村清
海軍少佐正六位勳四等　飯田信臣
海軍少佐從六位勳六等功五級　中村靜嘉
海軍大財從七位勳五等　藤戸永綱
海軍大財正七位　西垣富太
海軍大財正七位勳六等　和田雄次郎
（各通）
海軍大財從七位勳六等　高木七五郎
海軍大主計正七位　加藤順五
海軍大主計正七位　志佐勝
海軍大主計從七位　坂口直久
海軍大主計正七位　山田昌豁
海軍上等兵曹勳七等　江原瓦輔
海軍上等兵曹勳八等　池田歌平
海軍樂師從七位勳七等　田中幹
高崎能行
海軍船匠師勳七等　武佐次郎
海軍一等主帳勳八等　加藤鎚次郎
海軍一等主帳從七位　嶺村常三
海軍教授從七位　高橋作衛
海軍技手　遠藤貞雄
海軍技手　城田駒次郎

前同文（以上二十八年十二月十八日賞勳局）

印刷局印製

3828